



2025 年度

病院年報

生駒市立病院 指定管理者 医療法人徳洲会



目 次

理念・基本方針・患者様の権利	2
病院概要	4
指定機関・施設認定	5
病院統計	6
診療部	8
看護部	34
各部署	54

理念・基本方針・患者様の権利

■生駒市立病院の理念

1. 生命を安心して預けられる病院
2. 健康と生活を守る病院

■基本方針

1. 市民満足度の高い、質の高い医療を提供します。
2. 保険・福祉行政と連携した医療サービスを提供します。
3. 市民が安心して暮らせる救急医療体制を構築します。
4. 災害に対する救急対応ができる機能を確保します。
5. 市民参加による開かれた病院を実現します。

■スローガン

地域の人々に寄り添う医療

■沿革

2015 年 6 月	開院 許可病床 一般 210 床 (当初 99 床で運用開始) 今村 正敏 院長 就任
2016 年 1 月	5 階西病棟開棟 153 床 形成外科・救急科 開設
2016 年 7 月	血管外科 開設
2017 年 4 月	皮膚科 開設
2017 年 9 月	遠藤 清 院長 就任
2017 年 10 月	5 階東病棟開棟 203 床
2018 年 5 月	ICU 開棟 210 床
2021 年 1 月	コロナ陽性患者 受け入れ
2021 年 10 月	北和小児科輪番体制に加入
2024 年 4 月	生駒市医師会に入会
2024 年 4 月	リウマチ科開設
2024 年 6 月	在宅療養後方支援病院に認定
2025 年 4 月	糖尿病内科・眼科 開設
2025 年 6 月	開院 10 周年

患者様の権利

■当院は次の項目について患者さまの権利を尊重した医療を提供しています

1. いつでも安全で良質な医療を受けることができます。
2. 医療について説明を受け、医療行為を選択する権利があります。
3. 治療方針やセカンドピニオンについて希望を申し出ることができます。
4. 診療記録の開示を求めることができます。
5. 継続して一貫した医療を受けることができます。
6. プライバシーが守られ、個人の尊厳が保たれています。
7. 医療の情報について常に提供を受け健康教育や講演を受けることができます。
8. 生活の質と環境に配慮した医療の提供を受けることができます。

■患者さまの権利を保証するに当たり、患者さまに守って頂く必要があることがらです

1. 病状については、正直かつ正確な情報の提供をお願いします。
2. 治療方針を守り、治療中、心身に変化や問題が起こった場合は職員にお知らせください。
3. 健康保険等の手続きや、支払い方法についてご相談のある方は速やかにお申し出ください。
4. 病院の規則を守り、安心できる診療環境づくりにご協力ください。

■医療における子ども憲章

「医療における子ども憲章」は、公益社団法人日本小児科学会が 2022 年 8 月に策定した提言です。

病院や医療環境においても子どもの権利を保障し、尊重されるべき事項を定めたものであり、生駒市立病院ではそれらを踏まえた医療を行っていきます。

1. 人として大切にされ、自分らしく生きる権利
2. 子どもにとって一番良いこと（子どもの最善の利益）を考えてもらう権利
3. 安心・安全な環境で生活する権利
4. 病院などで親や大切な人といっしょにいる権利
5. 必要なことを教えてもらい、自分の気持ち・希望・意見を伝える権利
6. 希望どおりにならなかったときに理由を説明してもらう権利
7. 差別されず、こころやからだを傷つけられない権利
8. 自分のことを勝手にだれかに言われない権利
9. 病期のときも遊んだり勉強したりする権利
10. 訓練を受けた専門的なスタッフから治療とケアを受ける権利
11. 今だけでなく将来も続けて医療やケアを受ける権利

病院概要

名 称

生駒市立病院

所 在 地

奈良県生駒市東生駒1丁目6番地2

電話番号

0743 (72) 1111

病 床 数

一般210床

施設面積

5,500.03m²

延床面積

28,094.34m²

階 数

地下2階 / 地上7階

建物高さ

30.86m

主体構造

鉄骨造（基礎免震構造）

駐 車 場

150台

駐 輪 場

自転車21台、バイク27台

開 設 者

生駒市

管理運営

医療法人 徳洲会（指定管理者）

<診療科目>

内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、形成外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、腎臓泌尿器科、血管外科、皮膚科、リウマチ科、糖尿病内科、眼科

指定機関・施設認定

救急告示病院

DPC対象病院・標準病院群（係数 1.4519）

（係数内訳 基礎係数1.0451 機能評価係数Ⅰ0.3152 機能評価係数Ⅱ0.0916）

当院は保険医療機関である

<医療機関指定>

健康保険、船員保険、国民健康保険
後期高齢者医療保険、生活保護法、母子福祉法
身体障害者福祉法、特定疾患治療研究事業
原子爆弾被害者医療、補償指定、労災保険
自立支援医療、母体保護法

基本診療科

【初・再診料】

医療DX推進体制整備加算

【入院基本料】

一般病棟入院基本料（急性期一般入院基本料Ⅰ）

【入院基本料加算】

救急医療管理加算
超急性期脳卒中加算
診療録管理体制加算Ⅰ
医師事務作業補助体制加算Ⅱ（ⅠⅡ対Ⅰ補助体制加算）
急性期看護補助体制加算（ⅤⅥ対Ⅰ急性期看護補助体制加算）
看護職員夜間配置加算（看護職員夜間ⅠⅡ対Ⅰ配置加算）
療養環境加算（ⅠⅤⅥ床）
重症者等療養環境特別加算（ⅠⅥ床）
リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算
栄養サポートチーム加算
医療安全対策加算Ⅰ
感染対策向上加算Ⅱ
ハイリスク延滞管理加算
ハイリスク分岐管理加算
術後疼痛管理チーム加算
後発医薬品使用体制加算Ⅲ
バイオ後継品使用体制加算
病棟薬剤業務実施加算Ⅰ
病棟薬剤業務実施加算Ⅱ
データ提出加算（データ提出加算Ⅱ）
入退院支援加算（入退院支援加算Ⅰ）
認知症ケア加算（認知症ケア加算Ⅱ）
せん妄ハイリスク患者ケア加算
地域医療体制確保加算
協力対象施設入所者入院加算

【特定入院料】

ハイケアユニット入院医療管理料Ⅰ（Ⅷ床）
小児入院医療管理料Ⅳ

特掲診療科

【医学管理等】

外来栄養食事指導専科の「注2」に規定する基準
心臓ペースメーカー指導管理料の「注5」に規定する遠隔モニタリング加算
糖尿病合併症管理料
がん性疼痛緩和指導管理料
がん患者指導管理料Ⅱ
乳癌化学療法予防ケア・指導料
婦人科特定疾患予防治療管理料
二次性骨折予防継続管理料Ⅰ
二次性骨折予防継続管理料Ⅲ
慢性腎臓病通折予防指導管理料
院内トリアージ実務料
食関係日救急搬送医療管理料の「注3」に規定する救急搬送看護体制加算
外来診療化学療法診療料Ⅰ
連携充実加算
外来診療化学療法診療料の「注9」に規定するがん薬物療法体制充実加算
がん治療連携指導料
薬剤管理指導料
医療機器安全管理料Ⅰ
在宅患者訪問看護・指導料及び同一建院居住者訪問看護・指導料の注2
在宅療養後方支援病院
在宅患者訪問看護管理指導料
在宅持続性呼吸療法指導管理料の「注2」に規定する遠隔モニタリング加算

【検査】

HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
検体検査管理加算（Ⅰ）
検体検査管理加算（Ⅱ）
ヘッドアップティルト試験
小児食物アレルギー負荷検査

【画像診断】

CT撮影及びMRI撮影（計3機種）

【投薬・注射】

抗悪性腫瘍剤処方管理加算
外來化学療法加算Ⅰ
無菌製剤処理科

【リハビリテーション】

心大血管疾患リハビリテーション科（Ⅰ）
脳血管疾患等リハビリテーション科（Ⅱ）
運動器リハビリテーション科（Ⅰ）
呼吸器リハビリテーション科（Ⅰ）
がん患者リハビリテーション科

【処置】

人工腎臓
導入期加算Ⅰ
透析液水質確保加算及び慢性維持透析通過加算
下肢末梢動脈疾患指導管理加算
ストーマ合併症加算

【手術・麻酔】

経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
医科点数表第2章第10節手術の通則の16に掲げる手術
輸血管理料Ⅰ
人工肛門・人工排便造設術前処置加算
胃腸造設術下機能評価加算
麻酔管理料（Ⅰ）
周術期薬剤管理加算

【病理】

保険医療機関間の連携による病理診断

【その他】

看護職員処遇改善評価料5.3
外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）
入院ベースアップ評価料4.4

食事療養

入院時食事療養（Ⅰ）（管理栄養士によって管理された食事を随時、適量で提供しております。）
＜適時 朝8：00・昼12：00・夕18：00以降＞

保険外併用療養費 ＜評価療養・選定療養＞

・特別の療養環境の提供（有料個室）
個室：1日 6,600円 23室/1日 5,500円 22室
特室：1日 13,200円 2室
（個室料および1日につき設定されたもので、1泊に係る金額ではありませんので
ご注意ください）
・180日を超える入院（難病等の方を除く） 2,722円

令和6年7月1日 現在

病院統計

2025年度 科別新入院患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	75	92	90	82	105	77	58	89	85	84	75	82	994
消化器内科	7	5	5	11	4	12	10	13	13	10	8	11	109
糖尿病内科	0	0	0	1	3	1	6	2	5	1	0	3	22
循環器内科	23	20	24	26	17	27	20	18	31	28	23	26	283
小児科	38	52	32	41	49	40	53	55	50	39	45	59	553
外科	88	84	118	102	103	115	94	90	98	115	93	94	1,194
整形外科	16	12	13	24	15	26	22	22	30	21	18	21	240
脳神経外科	10	7	10	12	10	13	12	8	14	6	7	11	120
形成外科	8	8	6	16	10	11	16	11	11	5	16	8	126
腎臓泌尿器科	26	20	16	26	24	39	11	21	29	32	20	19	283
産婦人科	41	34	31	52	36	33	47	43	43	29	42	48	479
計	332	334	345	393	376	394	349	372	409	370	347	382	4,403

2025年度 科別退院患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	69	82	78	87	74	94	57	75	83	80	66	75	920
消化器内科	6	10	5	8	7	7	11	17	11	8	11	11	112
糖尿病内科	0	1	1	1	4	2	2	4	8	0	2	0	25
循環器内科	30	22	28	26	24	26	25	22	30	24	26	30	313
小児科	31	53	37	37	50	42	48	58	53	40	40	59	548
外科	90	80	99	100	90	106	91	89	95	105	85	101	1,131
整形外科	26	24	14	20	21	33	20	20	29	18	30	27	282
脳神経外科	13	14	18	11	14	16	13	13	7	8	9	16	152
形成外科	6	12	5	14	14	15	15	11	11	9	13	12	137
腎臓泌尿器科	29	24	23	25	25	38	16	18	30	33	27	21	309
産婦人科	37	40	27	50	41	32	47	41	45	31	37	46	474
計	337	362	335	379	364	411	345	368	402	356	346	398	4,403

2025年度 ICD-10別患者数

	病名	内科	消化器内科	糖尿病内科	循環器内科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	形成外科	腎臓泌尿器科	産婦人科	総数
A00-B99	感染症及び寄生虫症	66	10	0	7	76	58	0	1	1	7	3	229
C00-D48	新生物<腫瘍>	40	36	0	4	0	183	1	2	18	103	58	445
D50-D89	血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	9	0	0	1	6	10	0	0	0	1	2	29
E00-E90	内分泌、栄養及び代謝疾患	63	0	22	2	37	37	0	2	2	1	1	167
F00-F99	精神及び行動の障害	38	0	0	6	3	13	0	1	1	0	5	67
G00-G99	神経系の疾患	29	1	0	5	2	5	2	5	0	0	0	49
H00-H59	眼及び付属器の疾患	1	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	9
H60-H95	耳及び乳突突起の疾患	52	0	0	5	2	16	0	19	0	0	0	94
I00-I99	循環器系の疾患	50	3	0	226	1	32	0	76	6	8	0	402
J00-J99	呼吸器系の疾患	285	1	2	41	193	180	0	0	3	2	1	708
K00-K93	消化器系の疾患	137	57	0	6	6	359	0	0	0	0	1	566
L00-L99	皮膚及び皮下組織の疾患	2	1	0	0	17	7	1	0	47	0	0	75
M00-M99	筋骨格系及び結合組織の疾患	18	0	0	2	14	14	30	0	9	2	0	89
N00-N99	腎臓泌尿器系の疾患	57	2	1	4	7	41	0	0	0	182	34	328
O00-O99	妊娠、分娩及び産後<産後>	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	323	324
P00-P96	围産期に発生した病態	0	0	0	0	119	0	0	0	0	0	0	119
Q00-Q99	先天奇形、変形及び染色体異常	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	1	5
R00-R99	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3
S00-T98	損傷、中毒及びその他の外因の影響	67	0	0	4	55	77	248	46	42	3	15	557
Z00-Z99	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	28
U00-U99	特務目的用コード	6	0	0	0	4	98	0	0	0	0	2	110
合計		920	112	25	313	548	1131	282	152	137	309	474	4403

2025 年度
死亡患者数

診療科	退院患者数	死亡患者数		
		男	女	計
内科	920	33	41	74
消化器内科	112	4	2	6
糖尿病内科	25	0	0	0
循環器内科	313	17	22	39
小児科	548	0	0	0
外科	1,131	35	37	72
整形外科	282	1	0	1
脳神経外科	152	2	3	5
形成外科	137	1	9	10
腎臓泌尿器科	309	7	5	12
産婦人科	474	0	1	1
計	4,403	100	120	220

診 療 部

- 1 内科、消化器内科
- 2 糖尿病内科
- 3 循環器内科
- 4 小児科
- 5 外科
- 6 整形外科
- 7 血管外科
- 8 脳神経外科
- 9 形成外科
- 10 皮膚科
- 11 眼科
- 12 腎臓泌尿器科
- 13 産婦人科
- 14 麻酔科
- 15 放射線科
- 16 救急科

1. 内科、消化器内科

■特色・診療体制：

「臓器別医療の枠を超え、高齢者の急性期を包括的に支える」

当科が担うのは、特定の臓器疾患への特化ではなく、高齢患者さまに多い誤嚥性肺炎や尿路感染症といった、一般的内科急性期疾患の「幅広く、かつ迅速な受け入れ」です。

市立病院という立ち位置において、複数の併存疾患を抱え、単一の専門科だけでは判断が難しい症例の全身管理こそが、私たちの主戦場であると考えています。

院内の各専門科とは垣根のない緊密な連携を維持しており、病態の急変や精査が必要な場面でも、柔軟かつ迅速に最適な医療へ繋げられる体制を整えています。

また、当院はNST（栄養サポートチーム）教育施設に認定されており、病院を挙げて栄養管理の質向上に取り組んでいます。

当科においてもこの多職種連携を診療の主軸に据え、低栄養や嚥下障害が懸念される患者さまに対し、入院早期から積極的な介入を行うことで、全身状態の安定化はもちろん、退院後の円滑な生活再開までを一貫して後押ししています。

内科 2025 年度実績：

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
入院	75	92	90	82	105	77	58	89	85	84	75	82
外来	2,183	2,171	2,104	2,266	2,327	2,161	2,731	2,945	2,602	2,240	2,198	2,080

消化器内科 2025 年度実績：

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
入院	7	5	5	11	4	12	10	13	13	10	8	11
外来	168	160	170	170	150	169	145	148	202	115	121	132

内視鏡 2025 年度実績：

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
上部	158	177	189	253	217	211	221	197	242	167	157	151
下部	48	40	62	65	39	63	64	54	56	57	52	55

■地域の医療機関の先生方へ：

地域の先生方が日頃より診療を継続されている患者さまが、万が一急性増悪を来した際、「頼れる後方支援の場」として機能できるよう尽力してまいります。

主訴が多岐にわたり紹介先に苦慮されるケースや、低栄養への介入が必要な際も、まずは気兼ねなくご相談いただければ幸いです。

医師紹介：

部長 後藤 智親

専門分野：内科一般・消化器病（特に肝胆膵領域）

1988年 岐阜大学医学部 卒

1995年 大阪市立大学医学部大学院 卒

医学博士

日本内科学会

日本肝臓学会

日本消化器病学会

日本消化器内視鏡学会

日本救急医学会

医師紹介：

部長 瀬角 裕一

専門分野：内科一般・老年内科

2011年 三重大学医学部 卒

外科専門医

日本プライマリ・ケア連合学会 認定医・指導医

日本専門医機構 総合診療専門研修 特任指導医

日本病院総合診療医学会 認定医

日本栄養治療学会(JSPEN) 認定医

認知症予防学会 専門医

認知症サポート医

日本嚥下医学会 嚥下相談医

2. 糖尿病内科

■特色・診療体制：

昨年 4 月からの新設科で 1 人での診療のため月・水・木曜日の再診と土曜日は初診対応のみとさせていただいております。

これまでの豊富な診療経験を活かしながら真摯に患者様と向き合い、話し合いながら、最適な治療を患者様と一緒に考えていきたいと思っております。

また、他科で入院された患者様の周術期血糖コントロールや未治療であった患者様の治療も行っております。

糖尿病内科 2025 年度実績：

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
入院	0	0	0	1	3	1	6	2	5	1	0	3
外来	0	70	81	84	56	109	93	88	137	102	95	152

■地域の医療機関の先生方へ：

糖尿病の血糖コントロール不良な患者様への糖尿病治療入院や外来加療・合併症の検索などを行っていますのでお困りの際は一度ご紹介ください。

また甲状腺や副腎疾患等もできる範囲で対応させていただきます。

医師紹介：

部長 岸谷 譲

専門分野 糖尿病・内分泌疾患・脂質異常症・代謝疾患

日本糖尿病学会専門医・研修指導医

日本内分泌学会内分泌代謝科指導医・内分泌代謝科（内科）専門医

日本甲状腺学会専門医

日本内科学会認定内科医

日本医師会認定産業

3. 循環器内科

■特色・診療体制：

狭心症、心筋梗塞等の虚血性心疾患に対する心臓カテーテル検査による診断および経皮的冠動脈形成術（ステント留置術等）による治療を行います。

下肢の閉塞性動脈硬化症に対するカラー Doppler 付き超音波検査の他に血管造影検査による診断と経皮的血管形成術（ステント留置術）による治療も行います。

不整脈に対するホルター心電図の他に重症不整脈（心房細動、上室頻脈、心室頻脈等）に対する電気生理学的検査による診断およびカテーテルアブレーションによる治療を行います。徐脈性不整脈に対してはペースメーカー植え込み術を行います。

心不全の原因となる弁膜症、心筋症、心内膜炎、心筋炎等の診断および治療を行います。重症虚血性心不全や重症急性心筋炎などによる薬剤抵抗性の心不全に対しては大動脈バルーンポンピング（IABP）や経皮的人工心肺補助装置（PCPS）も使用できます。

重症急性呼吸不全に対しては人工呼吸器によるサポートや体外式膜型人工肺（ECMO）も使用できます。また、睡眠時無呼吸症候群の診断及び治療も行っています。

循環器内科 2025 年度実績：

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
入院	23	20	24	26	17	27	20	18	31	28	23	26
外来	446	434	531	452	459	484	510	431	539	458	438	548

CAG	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
	10	13	11	7	8	9	13	11	13	12	12	10

PCI	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
	6	6	5	5	7	5	7	5	7	9	8	6

P T A	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

P M I	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
	4	2	3	2	0	0	3	4	5	1	3	3

A B L	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
	1	1	2	0	1	3	1	1	0	1	1	1

■地域の医療機関の先生方へ：

開院時から循環器内科の診療を中心に診察しています。外来は月・水・金の午前と月曜日の夕方に担当しています。虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）、閉塞性動脈硬化症、不整脈（徐脈はペースメーカー植込み、頻脈はカテーテルアブレーション）などの検査および治療を施行しています。また、睡眠時無呼吸症候群の診断及び治療も行っています。

これからも地域の皆様との信頼構築、開業医の先生方との連携を強くすることで生駒市の心疾患の患者様に関わっていきたいと考えています。

医師紹介：

副院長 松浦 泰彦

専門分野 循環器内科

1983 年 大阪医科大学 卒

日本内科学会・認定医

日本循環器学会・専門医

日本心血管インターベンション治療学会・専門医・指導医

4. 小児科

■特色・診療体制：

当科は2015年7月の開院翌月に産声をあげました（診療を開始しました）。

常勤医が不在、あるいは1人体制の時期もありましたが、少しずつ体制が整い2026年3月現在は常勤医5名体制で診療しています。

一般的な小児診療のほか、専門診療としてアレルギー疾患（喘息、アトピー、食物アレルギーの診断・指導[*負荷試験を積極的に行っています]）、腎疾患（検尿異常、先天性腎尿路異常、腎炎・ネフローゼ症候群、夜尿症）、こころの問題（起立性調節障害、生活リズムの乱れ）などに対応しています。また、産科と連携し院内で出生した新生児の診療も行っています。2025年度は、初めて初期臨床研修医を（計6名）受け入れました。

2026年には11歳になり、これからまさに成長期を迎えます。2027年度(令和9年度)には、病床数が5から10床へ増える予定です。より充実した病棟を目指して、現在多床室、プレイルーム、処置室、中庭などの見直しを進めています。

小児科 2025年度実績：

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入院	38	52	32	41	49	40	53	55	50	39	45	59
外来	617	764	556	599	706	569	770	955	706	613	735	602

■地域の医療機関の先生方へ：

生駒市内からのご紹介は、時間帯に関わらず必ず対応いたします。

「いこまっこ」と地域の医療機関から選ばれる小児科を目指して、これからも診療レベルの向上に努めます。



医師紹介：

主任部長 金子 直人

専門分野：小児科一般、小児腎臓病

出身大学：福井大学（旧福井医科大学）卒

資格：小児科専門医、認定小児科指導医、日本腎臓学会認定腎臓専門医・指導医

所属学会：日本小児科学会、日本小児腎臓病学会、日本腎臓学会

日本小児腎不全学会、日本外来小児科学会

顧問 岩井 義隆

専門分野：小児科一般、小児アレルギー疾患

出身大学：京都大学卒

資格：小児科学会専門医、日本アレルギー学会認定アレルギー専門医、

日本医師会認定産業医

所属学会：日本小児科学会、日本アレルギー学会、日本小児アレルギー学会

医師 釜谷 悠莉

専門分野：小児科一般

出身大学：滋賀医科大学卒

資格：小児科専門医

所属学会：日本小児科学会、日本アレルギー学会

医長 芝 朋子

専門分野：小児科一般

出身大学：京都大学卒

資格：小児科専門医、子どもの心相談医

所属学会：日本小児科学会、日本小児科医会、

日本小児アレルギー学会、日本小児心身医学会

医師 久門 順子

専門分野：小児科一般、小児アレルギー疾患

出身大学：大阪公立大学卒

資格：小児科専門医、認定小児科指導医、日本アレルギー学会認定アレルギー専門医

所属学会：日本小児科学会、日本アレルギー学会、日本小児アレルギー学会

日本小児臨床アレルギー学会、日本小児呼吸器学会

5. 外科

■特色・診療体制：

疾患名別では鼠径ヘルニアが最も多く、次いで虫垂炎、胆石症・胆嚢炎などの手術を行なっております。他にも腸閉塞や胆石症の良性疾患も数多く入院加療しており、悪性疾患では胃癌や大腸癌、食道癌、膵癌、乳癌、胆管癌などを幅広く診療を行っています。手術だけではなく、これらの化学療法も外科にて行なっております。

外科 2025 年度実績：

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
入院	88	84	118	102	103	115	94	90	98	115	93	94
外来	835	545	952	941	850	911	907	809	906	829	708	858

■地域の医療機関の先生方へ：

当院では一般的な外傷、急性腹症、悪性腫瘍に対する治療まで幅広く診療を行い、様々な病状に柔軟に対応しています。良性疾患に対しては総合的に外科治療の必要性を判断し、がん治療に対しては進行度に応じた治療方針を提案します。進行がんでは外科治療・化学療法・放射線療法・高気圧酸素療法・緩和医療などが必要になりますが、外来・入院を通じて切れ目のない医療の提供に努め、全身状態に加え病状経過や背景も考慮した上での治療方針を共に考えていきます。

大学病院や、大阪国際がんセンター、その他のがん拠点病院とも連携しながら化学療法や術後のケアも生駒市民のニーズに応じて臨機応変に対応できる体制を整えております。今後とも生駒市民の医療に貢献するために医療の充実を図っていきたいと考えています。

医師紹介：

院長 遠藤 清

1987 年 滋賀医科大学 卒

日本外科学会認定医

日本胸部外科学会

日本甲状腺外科学会

日本消化器外科学会

日本乳癌学会

日本臨床外科学会

日本臨床腫瘍学会

部長 高岸 智子

2007 年 岡山大学 卒

外科専門医

消化器外科専門医・指導医

がん治療認定医

消化器がん外科治療認定医

検診マンモグラフィ読影認定医

健康スポーツ医

乳腺認定医

臨床肛門病認定医

大腸肛門病専門医

日本外科学会

日本臨床外科学会

日本消化器外科学会

日本乳癌学会

日本大腸肛門病学会

日本臨床肛門病学会

日本内視鏡外科学会

6. 整形外科

■特色・診療体制：

整形外科疾患全般に加え、リウマチ性疾患の鑑別から早期診断、治療を行なっています。

特に、関節リウマチには、最新の薬物療法について、専門医が効果・副作用・費用などの情報を患者と共有・相談しながら、関節破壊が進行しないよう寛解を目標に治療を進めています。関節変形を伴う日常生活動作の障害には、外科的治療の選択肢についても説明します。

今後、ますます増えることが予想される高齢者の四肢脆弱性骨折（肩関節や手関節、股関節周囲の骨折など）には、早期の社会復帰を目指して、積極的に手術と術後リハビリテーションを行っています。

脊椎圧迫骨折には、脊椎専門医が定期的な評価を行い、椎体形成術を含めた治療法を検討しています。

長期リハビリテーション継続が必要と判断した場合、周辺リハビリテーション専門病院へ紹介し、回復を目指していただきます。

■地域の医療機関の先生方へ：

月曜日から土曜日まで、常勤医 1 名と複数の非常勤医師が外来を担当し、近畿大学奈良病院をはじめ、周辺の医療機関と連携し、整形外科疾患に対応しています。

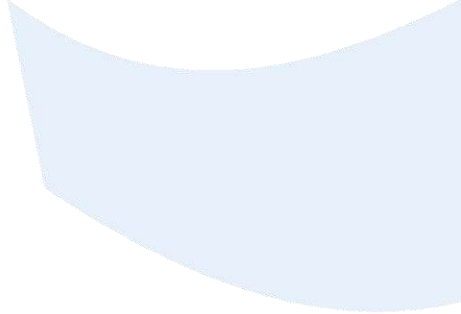
手術は、骨折などの外傷を中心に行なっています。

脊椎疾患は水曜日午後、リウマチ性疾患は木曜日午前、それぞれの専門医外来にご紹介ください。

骨粗鬆症評価に有効な DEXA 法による（腰椎及び大腿骨近位）骨密度測定が、火曜日午前に予約可能です。

整形外科 2025 年度実績：

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
入院	16	12	13	24	15	26	22	22	30	21	18	21
外来	795	932	856	889	883	854	867	807	887	896	802	947



医師紹介：

副院長 神谷 正人

専門分野 整形外科・リウマチ科

近畿大学 卒

日本専門医機構認定整形外科専門医

日本リウマチ学会リウマチ指導医・専門医

医学博士

日本整形外科学会

日本リウマチ学会

7. 血管外科

血管外科 2025 年度実績：

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
外来	15	14	9	16	10	8	24	29	26	31	16	49

非常勤医師による外来診療を行っています。

8. 脳神経外科

■特色・診療体制：

脳神経外科は従来、非常勤医による外来診療体制でしたが、2021年6月より鶴野卓史が常勤医として入職し、外来だけでなく入院もできる診療体制となりました。

365日24時間オンコールで救急患者や院内急変にも対応可能としています。緊急手術が必要な患者様に対してはいち早く転送・手術ができる体制を整えています。

外来は鶴野が月曜～木曜午前診を担当し、脳神経外科全般の診察だけでなく、脳卒中予防医療・片頭痛治療等にも力を入れています。

脳神経外科 2025年度実績：

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入院	10	7	10	12	10	13	12	8	14	6	7	11
外来	167	185	177	160	122	171	188	165	194	177	158	178

■地域の医療機関の先生方へ

地域での脳卒中を減少させるためには、脳卒中予備軍に対する積極的なMRI診断と高血圧・糖尿病・脂質異常・喫煙等の危険因子の管理が必要です。当科では脳卒中予防のための患者指導にも取り組んでいます。慢性頭痛に悩んでおられる方の生活指導も含めて外来で時間をかけて診療していますので、たくさんの患者様を紹介いただければ幸甚です。

医師紹介：

顧問 鶴野 卓史

昭和56年 大阪市立大学医学部卒業

日本脳神経外科学会 専門医

日本脳卒中学会専門医

日本脳卒中の外科学会

9. 形成外科

■特色・診療体制：

2017 年 4 月 1 日～ 日本形成外科学会 認定施設
2016 年 1 月 形成外科診療開始
2016 年 11 月 フットケア外来開設
2016 年 11 月 まぶた外来開設
2017 年 5 月 アンチエイジング外来開設
2017 年 6 月 レーザー外来開設
2019 年 4 月 下肢静脈瘤 血管内焼灼術実施施設、下肢静脈瘤外来開設
2020 年 4 月 形成外科専門外来（まぶた外来、アンチエイジング外来、
下肢静脈瘤外来、レーザー外来）
2021 年 4 月 美容外来開設（アンチエイジング外来名称変更）

■主な対象疾患・専門疾患：

形成外科では、体の表面の傷や変形、組織の異常や欠損などのトラブルに対して、様々なアプローチで治療を行います。治療により正常に近づけ、患者様の肉体的・精神的苦痛を取り除き、生活の質（QOL, quality of life）を少しでも向上させることを目標としています。

形成外科の対象疾患は「外傷」「先天異常」「腫瘍」「美容」などに分けることができます。具体的には、「新鮮外傷・新鮮熱傷」「顔面骨骨折・顔面軟部組織損傷」「唇裂・口蓋裂」「手・足の先天異常、外傷」「その他の先天異常」「母斑・血管腫・良性腫瘍」「悪性腫瘍およびそれに関連する再建」「瘢痕、瘢痕拘縮、肥厚性瘢痕、ケロイド」「褥瘡、難治性潰瘍」などに関連した診療を行っています。

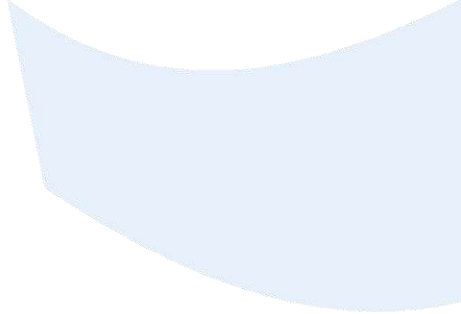
形成外科 2025 年度実績：

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
入院	8	8	6	16	10	11	16	11	11	5	16	8
外来	282	288	328	338	310	313	335	262	299	271	269	347

■地域の医療機関の先生方へ：

体表に関する悩みは、各個人の考え方や価値観により様々です。

形成外科の様々な疾患は、時に繊細な一面があり、患者様の立場に立って最善の治療と一緒に考えていくことが重要だと考えます。相談だけでも構いませんので、お気軽に受診してください。



医師紹介：

医長 木原 政志

専門分野：形成外科

関西医科大学 卒

日本形成外科学会

日本マイクロサージェリー学会

日本形成外科手術手技学会

日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会

日本フットケア、足病変学会

日本創傷外科学会

10. 皮膚科

■特色・診療体制：

日常皮膚疾患の治療を中心に、皮膚病一般の診療を行なっております。

問診・視診に加え、血液検査・直接検鏡・細菌培養・ダーモスコピー・皮膚生検・画像検査などを行い、診断および治療に努めています。

良性腫瘍、悪性腫瘍を含めた皮膚腫瘍の手術が必要な場合や、入院加療を要する褥瘡・皮膚潰瘍などは当院形成外科に紹介しています。

必要に応じ、当院他科や大学病院などの高次医療機関へも紹介しております。

フットケア外来は月・水・木に実施しており、完全予約制です。

当科で診察後、フットケア外来予約となり、インソールも必要に応じ作成しております。

ワイヤーは取り扱っておりませんので、適応症例は紹介させていただいております。



皮膚科 2025 年度実績：

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
外来	678	626	691	615	660	723	729	585	653	617	553	652

■地域の医療機関の先生方へ：

当科外来は月・火・水・木・金の午前（水曜日は予約のみとなります）に診療しています。紫外線治療器を備えていないため、紫外線治療を要する際は他院を紹介させていただくことがあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

これからも地域の皆様や先生方との信頼構築に努め、真摯に皮膚疾患の患者様に関わっていきたいと考えています。

医師紹介：

医長 棕棒 圭子

2007 年 兵庫医科大学 卒

皮膚科専門医

日本皮膚科学会

11. 眼科

眼科 2025 年度実績：

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
外来	0	3	3	0	2	1	0	10	4	3	3	4

非常勤医師による外来診療を行っています。

12. 腎臓泌尿器科

■特色・診療体制：

泌尿器科は、尿路、男性生殖器を扱う診療科で、患者様の身体的、社会的状態に応じた診療を診断から治療まで一貫して行っています。尿路腫瘍、前立腺疾患、尿路結石、男性不妊、排尿機能障害、尿路感染などの泌尿器科領域全般において、早期診断、安全、低侵襲、良好な術後機能を目指して診療を行っています。

近年では前立腺がん・膀胱がん・腎がんなどの泌尿器科系の悪性腫瘍が増加傾向にあります。特に前立腺がんの増加は顕著です。当院では早期診断・治療を目指して腫瘍マーカー（PSA）によるスクリーニングや前立腺生検を積極的行っています。

その他のがんに対しても、ほとんどの症例において、患者様に負担の少ない短期間の入院治療を目指し、腹腔鏡を用いた低侵襲手術に努めています。

また、月2回（主に第2・4水曜日）大阪医科大学 腎泌尿器外科 東教授による特別外来を行っています。（完全予約制）

■主な対象疾患・専門疾患：

腎臓泌尿器科の主な診療範囲

① 泌尿器科疾患全般

- ・排尿障害・尿路結石・尿路感染症・悪性腫瘍（前立腺癌・尿路上皮癌・腎癌・精巣腫瘍など）
- ・男性性機能障害（ED、LOH 症候群）など

②腎不全

- ・慢性腎臓病の保存期腎不全の管理

※腎炎・ネフローゼなどの診断・治療は行っておりません。

③人工透析

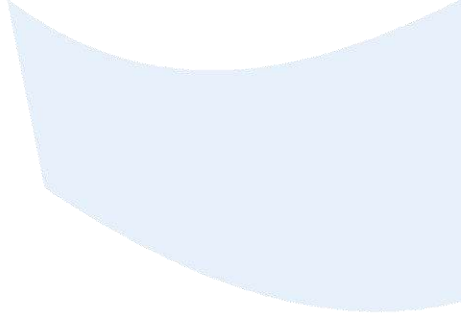
- ・入院透析（透析導入・慢性期療養透析・他疾患での入院透析など）

腎臓泌尿器科 2025 年度実績：

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
入院	26	20	16	26	24	39	11	21	29	32	20	19
外来	718	674	743	695	654	741	760	627	842	707	613	773

■地域の医療機関の先生方へ：

常に患者様の立場に立って考え、正確な診断、的確な説明を行い、患者様にご納得いただいた上での最善かつ最良の診療を心掛けています。泌尿器科の病気でお悩みの方は、いつでもなんでもご相談ください。



医師紹介：

部長 内本 泰三

専門分野 泌尿器疾患全般

大阪医科大学 卒

ダ・ヴィンチサージカルシステム認定医

日本泌尿器科学会専門医・指導医

難病指定医

日本がん治療認定医

医学博士

日本泌尿器科学会

透析医学会

泌尿器内視鏡学会

癌治療学会

13. 産婦人科

■特色・診療体制：

エビデンスに基づいた最新の医療を提供しています。

日本のどの地域にでも通用する医療を提供しています。

患者さんに優しい医療を提供しています。

総合診療を取り入れた医療を目指し、他科（小児科、外科など）との連携を大切にしています。

エビデンスのある分娩法を行い、無痛分娩も取り入れ年間分娩数は300件弱です。

■地域の医療機関の先生方へ：

東生駒駅から近く通院しやすい立地を生かし、市民の皆様に幅広く気軽に受診していただける診療をこころがけています。また女性医師の診療も行っており、診療予約も受け付けています。NIPTは2023年より実施をしております。ご希望の患者様がいらっしゃいましたらご紹介よろしくお願いします。

産婦人科 2025 年度実績：

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入院	41	34	31	52	36	33	47	43	43	29	42	48
外来	727	758	775	910	884	881	932	885	989	858	840	880
分娩	25	21	12	28	22	16	29	31	25	11	19	31

医師紹介：

総長 今村 正敏

1975年奈良県立医科大学 卒

日本産婦人科学会専門医・指導医

日本救急医学会専門医

麻酔科標榜医

産業医

日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医

米国家家庭医療学会（AAFP）会員

ALSO・BLSO インストラクター

NCPR インストラクター

顧問 山本 嘉一郎

東北大学医学部医学科 卒

日本産科婦人科学会専門医・指導医

日本専門医機構認定専門医

日本臨床細胞学会細胞診専門医

日本婦人科腫瘍学会専門医・指導医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法（Bコース）修了認定

緩和ケア研修会終了医師

母体保護法指定医

部長 山本 敏也

大阪大学医学部医学科 卒

日本産婦人科学会専門医・指導医

日本婦人科腫瘍学会専門医・指導医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

部長 貴志 洋平

旭川医科大学 卒

日本産科婦人科学会・機構専門医

日本産婦人科内視鏡学会・技術認定医

日本産婦人科内遺伝子診療学会・認定医

南 亜希

京都府立医科大学 卒

日本産婦人科学会専門医・指導医

日本専門医機構認定専門医

日本周産期・新生児医学会周産期（母体・胎児）専門医

新生児蘇生法「専門」コースインストラクター

日本超音波医学会超音波専門医

14. 麻酔科

■特色・診療体制：

緊急手術の全手術症例数に占める割合は 30%を超え、年々、上昇する傾向にあるが、現状の当科/手術室の現状を把握するために SWOT 分析行くと以下ようになる。

S：strength（内的要因）－専門性の高い経験も十分な医師・スタッフが多い。手術決定から手術実施までに時間を要しない。

W：weakness（内的要因）－常勤外科医・常勤麻酔科医・手術室看護師の不足（←今後予想される手術数患者増加に対して）。

生駒市及び奈良県西北部の基幹病院として考えた場合、心臓血管外科手術はもとより、胸部外科手術及び脳外科手術が実施できない。（常勤麻酔科医は胸部・心臓血管外科・脳外科手術麻酔経験症例数は各 1000 例以上を有す）

O：opportunity（外的要因）－交通の利便性が良く、当院グループ病院である野崎・八尾徳洲会総合病院との連携もとれる。

T：threat（外的要因）－近隣に、近大奈良病院・奈良県立総合病院など、高度先進医療を実施可能な大規模病院が存在する。

この分析結果をもとに、当院の 3 本柱（目標・目的）である①経営②安全（医療の質）③労務管理に対する戦略方針を立て、常勤麻酔科医 2 名の体制（非常勤麻酔科医なし）で、24 時間体制で全手術症例に対応している。

■地域の医療機関の先生方へ：

安全な麻酔を心がけています。また、術前診察・説明に細心の注意を払い、術中から、そして、術後も、術後疼痛管理チームを組織し、最大限、術後疼痛緩和に努めます。

医師紹介：

部長 辻川 洋 (Hiroshi Tsujikawa MD, Ph.D)

京都大学医学部/大学院卒

医学博士（京都大学）

日本麻酔科学会認定医

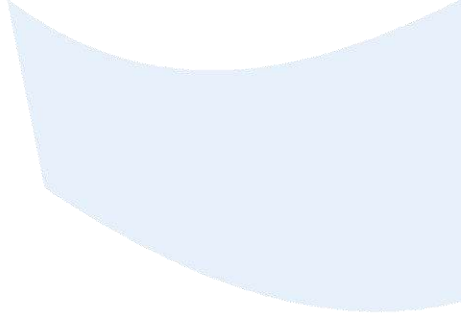
日本専門医機構認定麻酔科専門医

日本麻酔科学会指導医

ECFMG（米国）

米国公認会計士（USCPA, Guam）

公認内部監査人（CIA）



センター長 下村 俊行

1982 年 奈良県立医科大学 卒

麻酔科専門医

麻酔科指導医

日本区域麻酔学会指導医・認定医

緩和ケアの基本教育に関する指導者研修会

5. 放射線科

放射線科 2025 年度実績：

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
外来	50	49	46	40	43	38	39	32	29	53	37	49

非常勤医師による外来診療を行っています。

16. 救急科

救急科 2025 年度実績：

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
271	225	246	271	297	275	233	234	249	303	232	195

年間	月平均	お断り率
3031件	252.6件	4.00%

看 護 部

- 1 H C U
- 2 4階西病棟
- 3 4階東病棟
- 4 5階西病棟
- 5 5階東病棟
- 6 外来・E R
- 7 透析室
- 8 手術室

看護部の理念・方針

1) 生駒市立病院の理念

1. 生命を安心して預けられる病院
2. 健康と生活を守る病院

2) 看護部の理念・方針

【理念】

「生命だけは平等だ」の理念の基に看護者として市民の皆様に看護活動を通して質の高い看護を提供できるように日々研鑽し貢献していきます。

【看護部目標】

“あたたかい心”で、患者（対象者）に関心を寄せ、「そのひとらしく」を大切にする看護を実践します。

多様性を認め合う組織

- ・人はそれぞれが特別な存在です。違いを認め合いながら高いチーム力を発揮し、安全で質の高い医療・看護を目指します。

学習する組織

- ・学習者を支援できる環境を整え、教育の充実を図ります。
- ・プロフェッショナルの自覚を持ち自己研鑽に励みます。（責任感、倫理観、専門知識、成長意欲、仕事への熱意と誇りを持つ）

【2026 年度 看護部の目標】

1、認知症ケアの向上

認知症ケア加算 2 の維持
拘束率 8%以下を目指す
身体拘束最小化チーム活動の充実

2、医療サービスの質向上

「寄り添い」と「尊重」を意識した言葉使いの徹底
敬語を基本とし相手に合わせた丁寧語を使う
専門用語を避け誰にでも分かりやすい言葉で説明する

3、地域の皆様のために病床 100%活用を目指す

事業計画を達成する
月間目標を達成する

看護部

2026 年 4 月は、助産師新卒 4 名、看護師新卒 12 名、既卒 4 名、計 20 名の
新入職者を迎えます。新たな仲間と共に看護部一丸となり力を合わせていく所存です。

【職員数】

看護職員数 206 人 看護要員数 28.43 人

【認定資格】

認定看護管理者 1 名

感染管理認定看護師・特定行為研修 1 名

皮膚・排泄ケア認定看護師・特定行為研修 1 名

透析認定看護師 2 名

【特定行為研修終了者】

・慢性期・在宅特定行為研修 1 名 ・急性期特定行為研修 2 名

【2025 年度活動報告】

2025 年度は助産師 4 名、看護師（既卒・新卒）17 名、救急救命士 1 名、看護補助者 6 名、
計 28 名の新入職者を迎えてのスタートでした。看護補助者に関しては当院初めての外国人、
介護技能実習生の受け入れを行ないました。多様性を認め合いながら協働し、よりよいケア
が提供出来るように支援を継続しています。

1 年間の入職者数は看護部全職種で 38 名、退職者は 25 名です。2025 年度はグループ内
から 5 名の転勤者がありました。

当院は 2025 年 6 月で設立 10 周年目を迎えました。6 月 15 日にたけまるホールにて 10 周
年記念式典を執り行い 2,283 人の市民の皆さんに会場して頂きました。

東上理事長、山下知事、小紫市長、遠藤院長による「これからの生駒市立病院のビジョン」
についてパネルディスカッションが行なわれました。10 周年のあゆみと題してパネル展示
やイベントも盛り沢山で盛況に終わりました。今後も「断らない病院」「面倒見のよい病院」
を実践し市民の皆様に生駒市立病院があるから安心して暮らしていけると思ってもらえる病
院を目指していきます。

6 月、7 月に転倒による重大事故が 2 件発生しました。（2 名とも入院後 4 時間で転倒し受
傷、その後死亡。）開院後初めての出来事でした。臨時院内医療安全調査委員会を開催、医
療事故調査・支援センターより合議の助言を受け、「当院はこの事例を医療事故に値せず調
査制度の対象にはならない」と判断しました。看護部では対策を検討し①保護帽子の設置②
入院前転倒歴のある患者様は外来で入院時頭部 CT を撮影③入院時病室判断シートを用いて
適切な病室選択をおこなう。④転倒対策フローの活用。この 4 つの対策を立案しスタッフに
周知徹底しました。今後も PDCA サイクルをまわし続け 2 度と同じことを繰り返さない体制
を構築していきます。

認知症ケアの向上に向けて、身体拘束率の低減にも取り組みました。拘束率 10%目標を
達成し 2026 年度は 8 %以下を目指します。

7月にはハラスメント問題が浮上。ハラスメント相談窓口は設置されていたが職員への周知不足もあり再度アナウンスを行ない、役職者、医師を対象にハラスメント研修を2回実施しました。今後も定期的な研修を実施するとともに、当院のハラスメントに関する方針や対策を職員全体に明確に伝えていくことが必要とされます。またハラスメントに関する情報や相談事例を職員で共有できる場やシステムを構築し注意喚起に取り組む必要があります。引き続き取り組むべき課題であります。

11月には10周年を記念し、健康フェスティバルも盛大に行なわれました。終日雨模様でしたが、来場者数1,825人と盛況に終わりました。この来場者数は、市民の皆さんの当院に対する期待値だと受け取っています。市民の皆様の期待に添えるよう職員一同今後とも邁進してまいります。

1 HCU

■スタッフ紹介

(2026年4月1日現在)

常勤看護師：16名

非常勤看護助手：1名

■特色

HCU（ハイケアユニット）は、重症化や急変のリスクの高い患者様、手術後の管理が必要な患者様を受入れ、手厚い治療とケアを実践します。当院のHCUは8床（オープンフロア6床、個室2床）を備えています。

外来・ERからの入院受け入れをはじめ、全身麻酔下の外科手術後、急性心筋梗塞、心筋アブレーション後、循環不全、呼吸不全、多臓器不全などの急性機能不全の患者様が入室しており、人工呼吸器管理・持続的血液濾過透析（CHDF）・大動脈バルーンパンピング（IABP）などの特殊治療も行われます。

個室2床は陰圧装置が設けられており、COVID-19やインフルエンザなどの感染症で重篤化した患者様の受入れも行います。

一般病棟と集中治療室の中間的な位置であるHCUでは、ICU同様の集中治療管理、全身状態の異常の早期発見、急変時の迅速な対応など重大な責任がある反面、一般病棟のような意識清明の患者様との会話からアセスメントすることや日常生活援助なども多く、その業務は多岐にわたります。

各診療科の主治医をはじめ、リハビリテーション科、臨床工学技師、栄養科など多職種との連携によりできるだけ早く一般病棟に転棟できるよう努めています。

特定看護師1名を含む20～50代の幅広い世代の看護師が16名在籍しており、カンファレンスなどで意見交換しながら安全で質の高い医療サービスを提供できるよう全員で協力しています。

環境の特殊性から患者様のせん妄予防のため、ラジオや動画視聴、患者様との積極的なコミュニケーションを行い、和気藹々と昼夜の区別を感じてもらえる工夫もしております。患者様だけではなく、面会時には患者様ご家族様へ声をかけ、患者家族へも寄り添った看護をこころがけております。



2 4 階西病棟

■スタッフ紹介

(2026 年 4 月 1 日現在)

常勤助産師 22 名
非常勤助産師 1 名
常勤看護師 9 名
准看護師 1 名
看護補助者 4 名

〈認定資格等〉

新生児蘇生法 A コース 15 名
新生児蘇生法「1 次」コースインストラクター 1 名
性教育認定講師 1 名



■特色

4 階西病棟は産婦人科と主に内科、外科、整形外科、形成外科を対象とした女性の混合病棟です。0 歳から 100 歳を超える患者様を看護することが大きな特徴です。

産婦人科では、2020 年より無痛分娩の導入を行い、無痛分娩を希望される患者様も増えてきています。2024 年度の分娩件数は 237 件でしたが 2025 年度は 250 件程を超える見込みです。無痛分娩では、硬膜外麻酔だけでなく腰椎麻酔など患者様のご希望や、分娩進行に合わせたさまざまな方法を取り入れています。産婦人科医、小児科医、助産師と連携して母子をケアしています。

産婦人科だけでなくさまざまな疾患の患者様が入院されているため、助産師と看護師と連携し、幅広い知識と技術を活かして看護しています。

■2025 年度の活動実績・取り組み

分娩件数増加に伴い、新生児蘇生の技術・知識向上のため NCPR（新生児蘇生法）研修を毎年実施しています。産婦人科医・小児科医・助産師・看護師が参加し実際の状況を想定しながら研修を実施しています。今後も研修は継続していく予定です。

また、毎年当院で出産されたご家族を招待してクリスマス会を開催しています。2025 年午前、午後の 2 回講演で合計 255 名もの方が集まって下さりました。助産師によるハンドベル演奏やダンス、総長とママとのクラリネットセッション演奏などたくさんのイベントで盛り上がりました。またより多くの患者様に当院を利用していただくために日曜外来を毎月第 1、第 3 に始めました。また助産師のレベルアップのため同グループの阪南中央病院

への研修を1ヶ月毎に4名、行いました。

地域の小中高校への出張性教育も実施しており、2025年度は4校、6学年の授業を実施しています。

■2026年度の目標

2026年度は年間分娩件数300件を目標にしています。そのために今後はマザークラスも開始していく予定です。また、産後のママに喜んでいただくためニューボーンフォトの計画も行っています。

高齢化に伴い、認知症の患者様も増えています。離床センサー、睡眠センサーを活用し転倒転落防止に努め、安全な療養環境を整えるとともにパーソンセンタードケアを重視し、患者様の尊厳を守り、身体拘束を最低限に出来るよう努力していきたいと思います。



3 4 階東病棟

■スタッフ紹介

(2026 年 4 月 1 日現在)

〈常勤看護師〉 28 名

〈パート看護師〉 3 名

〈看護補助者〉 4 名

〈看護事務〉 1 名

〈認定資格等〉 特定行為看護師 2 名

内視鏡技師 1 名

なら糖尿病指導士 1 名



■特色

4 階東病棟は、主な診療科を整形外科、腎臓泌尿器科、脳神経外科、形成外科、小児科の 5 診療科とし、時には内科、外科といった患者様の受け入れしている混合病棟です。整形外科、腎臓泌尿器科、形成外科の患者様では手術に望まれている方がいらっしゃるため、周術期の看護を展開し、地域に戻る環境づくりの援助をしています。

また、小児科の入院も積極的に受け入れており、4 階東病棟では、「こどもからおとなまでが安心して療養できる」多様な年齢層、疾患、個別ケアと多職種連携、家族支援を提供しています。

1) 整形外科：大腿骨頸部骨折、転子部骨折を中心にさまざまな部位の骨折に手術で対応しています。また、転倒による椎体骨折の患者様にとっては、安静目的とリハビリ目的での入院をされています。そのため、周術期の術前、術後のケアから日常生活援助、リハビリ支援までの幅広い看護を提供しています。緊急手術や入院が多いですが、多職種と連携して患者様の ADL 向上にむけた退院支援を行っています。

2) 腎臓泌尿器科：全身麻酔下での TUR-BT、TUR-P、TUL などの経尿道的手術、前立腺生検、腹腔鏡下前立腺全摘術、腹腔鏡下腎臓摘出術、尿管切除術後の患者様がいらっしゃいます。また、腎盂腎炎による薬剤治療や、尿管結石に対して尿管ステントを留置した患者様もいらっしゃいます。また、人工透析の必要な患者様の透析導入に際して教育入院治療を行ったりもします。尿の性状や量の観察が重要となります。また、膀胱還流が手術後必要となる患者様に対する援助や、ウロストーマが造設された患者様のケアや指導を行っています。腎臓泌尿器科の診察は患者様にとってデリケートな診察になること

も多く、羞恥心に配慮しつつ、スムーズに対応できるように細やかなケアを行っています。

3) 脳神経外科：脳梗塞、脳出血などで手術を必要としない患者様が点滴加療やリハビリ目的で入院されます。急性期の看護では観察が重要です。日常生活動作の低下において療養上の世話を中心に、安全・安楽に看護を提供していきます。また、リハビリ部門との連携で、患者様のADL維持・向上を目指しています。

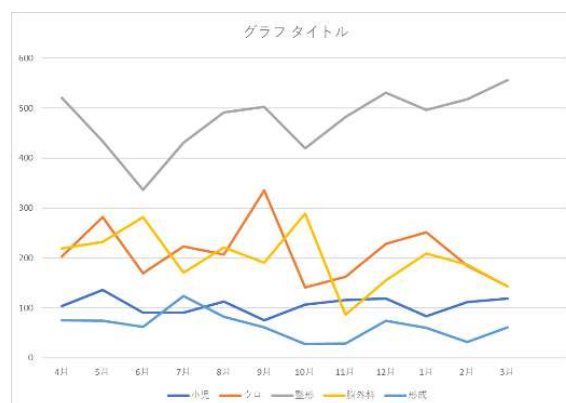
4) 小児科：気管支喘息などの点滴加療、酸素投与が必要な方が入院しています。家族付き添いでの入院となるため家族に対するケアも必要です。小児は自分で症状を訴えることは出来ないため、細かな観察と高度な技術が必要となります。火曜日と水曜日は小児外来での診察の介助を行います。そのため、外来に受診される患児や保護者とも面識を持つことができ、相談できる、顔が見れる環境があります。そのため、入院が必要になったとき、患児や保護者の精神的フォローに早期に介入ができます。

5) 形成外科：褥瘡・難治性潰瘍・下肢静脈瘤・蜂窩織炎・眼瞼下垂などで入院になり手術を行います。褥瘡の治療方法は創傷被膜剤や外用薬などによって、肉芽形成や上皮化を促す保存方法と植皮術や皮弁形成術などの外科的再建術があります。手術の内容によっては短期入院で1泊から2泊などで退院されます。

4階東病棟では、異常の早期発見、転倒・転落を予防出来るように心がけています。高齢の患者様も多く認知症予防、危険行動の回避、身体拘束をできるだけしないように、日々スタッフ一同試行錯誤しながら看護を提供しています。今後も患者家族に寄り添う看護を実践していきます。

■2025 年度 活動実績

2025年度	小児	ウロ	整形	脳外科	形成	OP件数
4月	104	203	521	219	75	18
5月	136	282	434	232	74	19
6月	90	169	337	282	62	13
7月	90	223	431	170	124	30
8月	113	207	491	221	82	27
9月	75	336	503	191	61	25
10月	107	141	420	289	28	20
11月	116	162	482	86	29	19
12月	119	228	531	155	74	27
1月	83	251	497	209	60	24
2月	112	185	518	187	32	22
3月	119	143	556	143	61	17



■2026 年度目標

4 階東病棟は、混合病棟であるため複数の診療科の患者が入院しています。
看護師は多岐にわたる幅広い知識や技術習得、多職種連携スキルできる環境です。
今後も、患者様に社会復帰の支援、安全な看護の提供してきます。また、許可病床を地域の患者様に使用していただけるように効率的な病棟運営を行っていきます。

4 5階西病棟



■スタッフ紹介/有資格（2026年4月1日現在）

常勤看護師 28名

非常勤看護師 2名

CDE（なら糖尿病指導士） 4名

TCLS/日本救急医学会認定 ICLS 研修コース修了 2名

常勤看護補助者 4名

非常勤看護補助者 1名

介護福祉士 1名

病棟事務 1名（5東・5西病棟兼務）

■特色

当病棟は、2020年コロナ疑似症例受け入れ、2021年度1月からコロナ陽性対応病棟と

して稼働していました。コロナが 5 類感染症になった現在、内科や外科の患者様を主として対応しています。

2025 年 4 月から糖尿病専門医が着任し、受け入れをしています。糖尿病患者の教育入院の受け入れも始まり、昨年度は 4 名が CDE（なら糖尿病指導士）研修を受講し認定されました。血糖値の数字だけを見るのではなく、その人の仕事や家族構成、趣味、価値観など 24 時間の生活の流れを把握することから始めます。患者様ひとりひとりの生活背景を考慮し、「指導」するのではなく、「支援」の姿勢を大切に看護にあたっています。

内科や外科の入院患者様は 70 歳代から 100 才を超える方まで高齢の方が多く、病院や施設へ退院される方が多数を占めます。施設からの紹介入院にも積極的に対応しており患者様が住み慣れた地域で自分らしく暮らすために、医療の側面から全力でバックアップする体制を備えています。

また、入院当初から退院後の生活を見据え、地域連携室や地域の在宅支援サービス担当者と勤務津に連携しています。患者様やご家族の意向を尊重し、医療・介護の他職種が情報を共有し、安心かつスムーズな在宅支援を行っております。

個室はコロナ対応時に準陰圧部屋として整備されており、感染症、又は疑い患者に対応しています。感染症は多岐にわたる疾患ではありますが、スタッフは標準予防策、感染経路別対策を遵守し、医療側にも安全である事、患者様にとっても安全に看護が提供できるよう、私たちは日々知識・技術の向上に励んでいます。

当病棟は、スタッフ間の活気あふれる雰囲気の特徴です。互いに協力し合い、アットホームな環境の中で、高い向上心を持って日々業務に取り組んでいます。

自己研鑽にも積極的に励み、患者様へより良いケアを提供できるよう一丸となり努めています。

5 5階東病棟

■スタッフ紹介 (2026年4月1日現在)

常勤看護師 28名

非常勤看護師 2名

看護補助者 5名

非常勤看護補助者 1名



■特色

5階東病棟は循環器、消化器外科、消化器内科、内科の混合病棟です。

循環器内科は、主に高血圧、狭心症、心筋梗塞、不整脈、心不全の患者様が入院されています。

消化器外科は、食道がん、胃がん、大腸がんなどの手術から、腹腔鏡下での胆嚢摘出術、鼠径ヘルニア手術などを行っています。また、化学療法や疼痛コントロール目的の入院もあります。

消化器内科は、上部・下部内視鏡検査や内視鏡的胆管造影（ERCP）や内視鏡的乳頭括約筋切開術（EST）食道や胃静脈瘤に対して硬化療法（EIS）や内視鏡的結紮術（EVL）等の治療を行っています。

■2025年度の活動実績・取り組み

2025年度、循環器疾患による心臓カテーテルの検査・治療（PCI）を49件、ペースメーカー植え込み術を22件、アブレーション治療を13件実施しました。また、心臓カテーテル担当看護師の育成にも注力し、新たに3名の看護師が担当可能になりました。

外科による手術件数は138名であり、全身麻酔後の帰室患者に対する観察やおよび疼痛緩和が円滑に行えるよう体制整備に取り組みました。

入院患者数は予定入院240件、緊急入院611件でした。また、HCUからの転入患者を円滑に受け入れる体制づくりにも努めました。

■2026年度の目標

2026年度は心臓カテーテル担当看護師を4名育成予定です。また、アブレーション施行医も変更にも柔軟に対応し、より円滑な診療支援が行える体制の構築を目指します。当病棟は手術や検査が多く、緊急対応を要する場面もあります。そのために、看護師一人ひとりが迅速かつ適切に対応出来る実践力の向上を図ることも重要な目標です。

6 外来・ER

■スタッフ紹介 (2026年4月1日現在)

常勤看護師：20名 非常勤看護師：8名 常勤救急救命士：5名 計33名
看護師長：1名 看護主任：1名 看護副主任：2名

■業務内容

1階：内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病内科、整形外科、血管外科、
小児科（アレルギー外来・じっくり外来・ぼちぼち外来・予防接種・健診）、
救急外来の診療介助と採血室および放射線科業務



2 階：皮膚科、形成外科、アンチエイジング外来、腎臓泌尿器科、脳神経外科の診療介助
と内視鏡業務（上部、下部）



3 階：外科外来の診療介助と化学療法センター業務



■2025 年度の活動

コロナが 5 類に移行後の 2023 年より外来診療は充実する一方、救急搬送は減少しました。入院患者数の維持は地域からの信頼の指標となることとし、積極的な入院を推進するため、対応する医師に働きかけると共に、患者様やご家族様の不安を軽減できるように取り組みました。具体的には救急搬送後に帰宅された方への電話訪問や、在宅支援窓口の開設、退院後の訪問などがあります。

救急電話訪問は 2023 年は 10 件/月程度でしたが、2025 年は 60 件/月以上になり、翌日以降の受診の推奨などにより外来患者数も着実に増加しています。

救急搬送された方の入院率は 2023 年には 40%ほどでしたが、2025 年は 50%近くに増加しました。

救急の不応需率も 2022～2024 年は平均 11～12%でしたが 2025 年は 5%未満（見込み）と半減し、職員ひとりひとりが親切に適切に対応することを意識して、ひとりでも多くの患者様を受け入れるべく積極的に取り組むことができました。

外来・ER では「得意を活かした業務配置」を重視しており、仕事へのやりがい向上により、看護の質と量のどちらにも作用するよう取り組み、定着化が図られたと思います。

■2026 年度の目標

増床を控えていることもあり、これまで以上に多くの患者様に当院を利用していただけるよう、これまでの取り組みは継続しつつさらに向上させていきたいと思います。

それに加え、地域の中で重要となっている在宅医療について推進し、訪問診療・訪問看護をはじめ、救急救命士による患者様のお迎えなども積極的に取り組んでいきたいと思います。

7 透析室

■概要

入院が必要な透析患者様（透析導入・手術・合併症の治療）、外来透析患者様の透析を行っています。

＜運営状況＞

ベッド数 15床

月・水・金 2クール

火・木・土 1クール

腎不全外来・CAPD（腹膜透析）外来 金曜日（不定期）2回/月

■スタッフ紹介 （2026年4月1日現在）

医師（泌尿器科）2名 看護師7名 臨床工学技士（他部署兼務）7名

＜看護師の保有資格＞

腎臓病療養指導看護師（2名）

腎臓病療養指導士（1名）

透析技術認定士（2名）

糖尿病療養指導士（1名）

■部署の特色



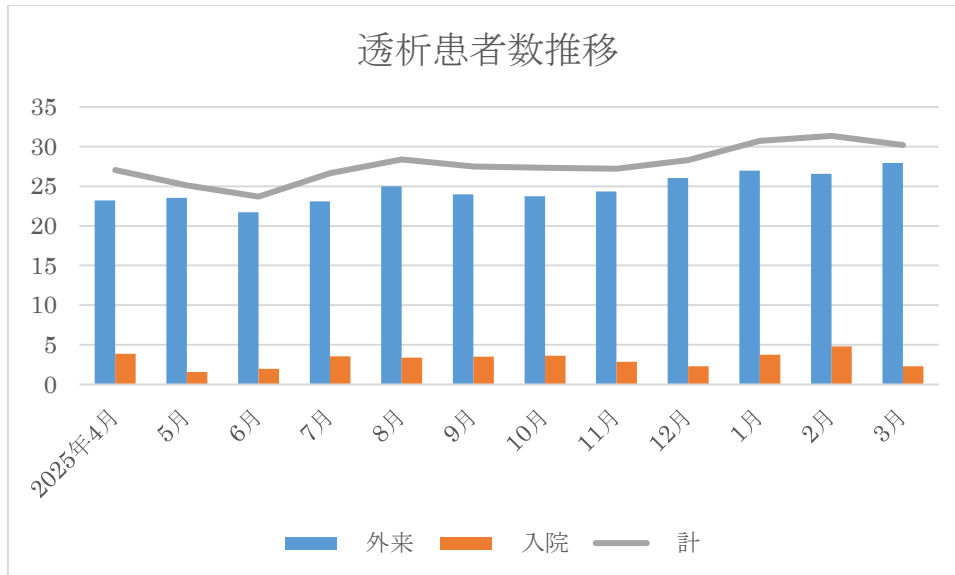
足を救える病院をめざし、毎月行っているフットチェックで問題のある患者様には、フットケア外来と連携を取り、透析中に往診を行っています。また、体力測定を2回/年行い、転倒リスクを評価し、腎臓リハビリテーションの介入を行い、下肢筋力低下予防、転倒予防に努めています。

シャントエコーを定期的に行い、臨床工学技士と協力して、以上の早期発見に努め、異常時は協力病院と連携して迅速に対応を行っています。

感染症患者様は、個室透析を利用し、感染対策を行い、感染拡大予防に努めています。

プライマリーナースングを取り入れ、患者様に寄り添い、日常生活支援を行っています。また、病状の変化を見逃さないように配慮し、必要時は在宅支援と連携を取りながら安心して過ごせるように努力しています。

■活動実績・取り組み



- ・市民講座

2025 年度 腎臓病教室 2 回/年

2025 年度 糖尿病教室 3 回/年

- ・奈良県医師会透析部会発表

2026 年 2 月 8 日「透析開始時のタイムアウトの導入」

今年度は、透析導入患者が少なく、他院からの紹介は数件ありましたが、患者高齢化のため、外来透析患者が 28 名と、減少傾向でした。外来透析患者増加の取り組みとして、腎不全看護外来から透析導入患者を増やす目的で、腎不全患者の治療法選択指導に力を入れ、現在 8 名と増加しています。

今年度よりタイムアウトを導入し、インシデントの軽減に努め、医療安全対策を行っています。

今年度より、ACP についての取り組みを行い、外来患者様全員に説明と事前指示書の確認を行う活動を行いました。

■次年度の目標

タイムアウトや ACP についての取り組みの評価を行い定着させる。

腎不全患者の治療法選択に力を入れる。

高齢の患者様の通院に対応できるように午後透析の

8 手術室・中央材料室

■スタッフ紹介（2026年4月1日現在）

常勤：11名

看護補助者：2名

〈資格〉

周術期管理チーム：2名

滅菌技士 2級：2名

■特色

当院では、麻酔科医による術前診察の充実と、他職種連携による周術期管理体制の確立が特色として挙げられます。麻酔科症例においては、手術決定後速やかに麻酔科医による術前診察を実施し、患者様の全身状態の評価およびリスクの把握を行っています。また、同時に看護師も術前から患者様の身体的・心理的側面を捉え、安心して手術に臨めるよう支援するとともに、術後を見据えた継続的な看護を実践しています。

手術室では日帰り手術センターを併設しており、主に形成外科などの日帰り手術を安心して受けていただける環境を整えています。日帰り手術センターでは、週に二回ペイン外来診療を行っています。帯状疱疹後の神経痛や、脊柱管狭窄症に伴う痛みなどに対して、内服治療やブロック注射など、患者様の状態にあわせた治療を提供できるように努めています。

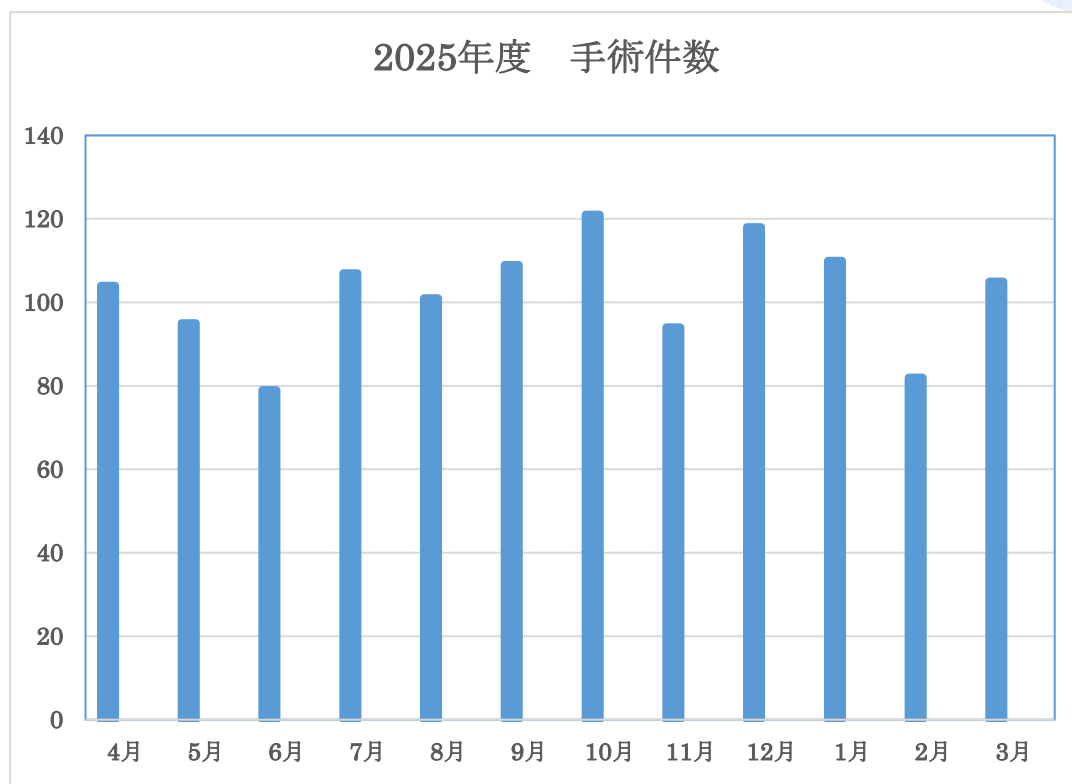


■2025年度 活動実績、取組み

2025年度の手術件数は1,225件でした。手術を実施する診療科は、外科、産婦人科、泌尿器科、整形外科、形成外科です。開腹手術から腹腔鏡手術まで、多様な術式に対応しており、それぞれの特性に応じた安全管理と看護実践を行っています。

また2025年度は、術後疼痛管理チームを立ち上げ、術後疼痛の管理体制を構築しました。

その取り組みにより、周術期全体の安全性と医療の質の向上に寄与できたと思います。



■2026 年度の目標

2026 年度は、患者様がより一層安心・安全に手術を受けられるよう、体制の強化を目標とします。その為には、今後も他職種と連携を図り周術期管理の充実に取り組みます。また、看護師の専門性向上と教育体制の強化を通じて、術前から術後まで一貫した安全で質の高い看護の提供につなげていけるよう努力していきます。

各部署

- 1 リハビリテーション科
- 2 栄養科
- 3 健診センター
- 4 臨床検査科
- 5 放射線科
- 6 薬剤部
- 7 臨床工学科
- 8 地域医療連携室
- 9 医事課
- 10 事務部・総務課
- 11 メディカルクラーク
- 12 診療情報管理室
- 13 感染対策室
- 14 医療安全管理室

1 リハビリテーション科

■概要

リハビリテーション科は理学療法・作業療法・言語聴覚療法からなり入院・外来患者様のリハビリを行っています。術後の患者様など急性期よりリハビリを実施し、早期回復を図っています。施設基準は脳血管Ⅱ、運動器Ⅰ、呼吸器Ⅰ、心血管Ⅱ、がんリハビリテーションとなっています。

■スタッフについて

①スタッフ数（2026年4月1日現在）

今年度2名が加わり総勢20名となっています。

理学療法士は14名、作業療法士は3名、言語聴覚士3名在籍しています。

②取得資格

認定理学療法士：1名

心臓リハビリテーション指導士：1名

呼吸療法認定士：4名

糖尿病療養指導士：1名

心不全指導士：1名

がんのリハビリ研修修了者：2名

介護支援専門員：2名

実習指導者講習会修了者：4名

など

■部署の特色

チーム制を導入し新人教育や、相談などが行いやすい環境となっています。定期的にミーティングを行っており知識や情報の共有を図っています。



■感染症患者様の対応について

コロナやインフルエンザなどの感染症患者様に対しても、高齢者やADLが低下している場合にリハビリを実施しています。个人防护具の着用や、介入時間の調整、リハビリの順番などを行い感染対策を徹底しています。

その他のスタッフも手指消毒の徹底を行い、感染対策を行っています。

■実績

●リハビリテーション処方件数							(件)					
	外来						入院					
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
内科	19	32	109	134	164	82	166	155	306	280	426	641
循環器内科	8	10	6	4	4	0	317	218	185	216	176	130
外科	12	35	24	23	22	24	415	446	781	965	1013	738
整形外科	44	32	88	106	161	160	4	5	52	232	228	255
形成外科	144	101	1	5	4	4	174	124	36	60	40	51
脳神経外科	4	16	14	30	36	56	1	17	31	31	56	45
その他	6	16	11	10	2	7	72	60	80	60	61	95
合計	237	242	253	312	393	333	1,149	1,025	1,471	1,844	2,000	1,955
●理学療法・作業療法・言語聴覚療法 算定単位数												
	外来						入院					
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
理学療法	3,264	3,825	1,583	1,609	2,578	2,774	32,664	38,303	36,640	43,264	48,857	53,256
作業療法	595	378	156	243	462	155	3,780	4,009	5,156	4,975	6,515	7,334
言語聴覚療法	160	489	168	2	5	103	7,932	15,244	10,436	9,126	9,501	7,242
●一人あたりの算定単位数(月平均) (単位)												
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度						
理学療法	363	363	358	356	359	365						
作業療法	365	367	312	362	338	350						
言語聴覚療法	369	359.8	361	356	385	353						

リハビリテーション科の目標として、療法士1名あたり360単位/月がグループの目標として設定されています。

2025年度では理学療法の養成校より臨床実習の学生の受け入れをしています。

(養成校名)

京都医健専門学校 理学療法学科

■今後の目標

入院早期からのリハビリ介入が行えるように 土日祝日のリハビリテーション提供量を増やす取り組みを行っています リハビリテーション栄養口腔連携体制加算を1病棟で算定中 今後他病棟にも展開していく方針です

2 栄養科

■スタッフ紹介（2026年4月1日現在）

常勤：管理栄養士5名（1名育休中含む）

＜認定資格など＞ NST 専門療法士 : 2名
病態栄養専門管理栄養士 : 2名
糖尿病療養指導士 : 1名

■部署の特色

業務内容は主に給食管理・栄養管理となります。

給食業務は全て委託していますが、献立内容などを病院側で確認実施しています。また食札準備・食数管理・提供前検品は病院側でも実施し、適正な食事提供が行われているか、厨房運営が適切に行われているか常時確認しながら委託業者と協力体制を組み、入院患者に安全な食事提供がされるように取り組んでいます。

また、外来・入院患者対象に栄養指導を行い、食生活からの体調管理について説明しています。

■2025年度の活動内容

- ・新入職者への業務伝達を行いながら、業務の見える化及び効率化を促進。
- ・2025.8月 管理栄養士養成校（近畿大学）・臨床実習の受け入れを実施。
- ・非常食の入替えに伴い、数量及び内容の変更を実施。
- ・NST 教育認定施設取得に向けて活動
- 2025.10 NST 教育認定施設 申請
- 2025.12 NST カンファレンス ラウンド型へ変更検討
- 2026.3 NST カンファレンス ラウンド型へ試験的移行

■2026年度の目標

- ・NST 活動の一環で、NST 教育研修の受入を実施
- ・臨床実習受入：2校

3 健診センター

■業務体制

健診センターでは人間ドック（脳ドック等）や各種健康診断を受けていただくことにより、病気の早期発見や予防をすることで受診者様の健康維持や増進を進めていけると思っております。

■業務スタッフ（2026年4月1日現在）

医師：常勤1名
保健師：常勤1名
看護師：常勤2名
事務職員：常勤3名

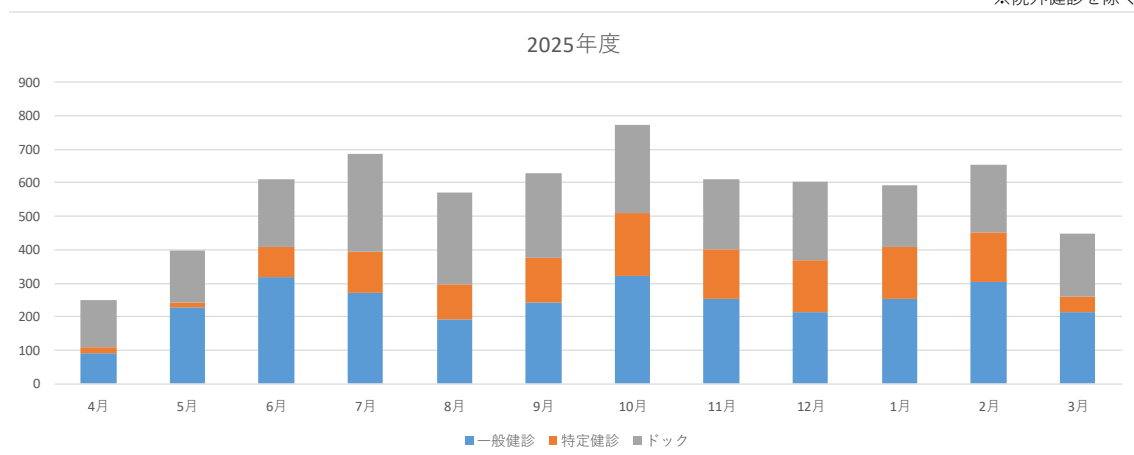
■業務内容

人間ドック、脳ドック、婦人科ドック、企業健診、一般健診、特定健診、生駒市がん検診（子宮頸がん、乳がん、胃がん、大腸がん）を実施しております。

■活動実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般健診	91	228	318	271	191	244	322	253	214	254	303	213
特定健診	16	16	89	123	105	133	187	147	154	156	148	46
ドック	141	153	202	292	275	253	265	210	237	181	203	189

※院外健診を除く



■今後の目標

- 人間ドック（脳ドック含）受診者数の増加
- 特定健診受診者数の増加
- 新規専門ドック開設
- インターネット等による予約システム構築

4 臨床検査科

■スタッフ紹介（2026年4月1日現在）

常勤：12名

技師長：1名 副技師長：1名

主任：3名（検体検査、生理検査、輸血検査）

副主任：2名（生理検査、検体検査）

<認定取得>超音波検査士：（消化器領域2名、循環器領域1名）

緊急検査士：3名、 糖尿病療養指導士：1名、 医療安全管理者：1名

■特色・部門体制

臨床検査科は検体検査部門と生理機能検査部門からなり、検体検査部門では「迅速かつ正確な検査結果を提供する」、生理機能検査部門では「患者様には優しく、スタッフ間は丁寧に」をモットーに日々検査を行っています。また、救急病院の検査室として24時間体制で検査を実施しております。

<学会発表、投稿、認証>

外部精度管理調査（日本医師会、日本臨床検査技師会、奈良県臨床検査技師会、各試薬メーカー主催の臨床検査精度管理調査）などに積極的に参加し、日々の内部精度管理のみならず検査技術の向上に向けて様々な取り組みを行っております。

超音波検査学会の画像コントロールサーベイランスにて腹部、心臓、表在の3領域にてA評価を取得しております。

【院内実施検査】

<検体検査部門> 共有基準範囲を採用し、国際基準に基づく検査方法にて測定

	主な検査項目	使用機器
生化学検査	GLU CPK CK-MB GOT(AST) GPT(ALT) LDH ALP CHE GGTP T-Bil D-Bil S-AMY P-AMY TP ALB T-CHO LDL-C HDL-C TG babyT-BIL Na K Cl Ca BUN CRE UA Mg FE IP NH3 トロポニンI BNP PCT 浸透圧 ジコシン VCM	Canon TBA-C8000 日立 7180 ARCHITECT i2000SR OM-6060
免疫検査	CRP TSH FT3 FT4 フェリチン CEA AFP CA19-9 CA125 CA15-3 PSA HCG TP-Ab RPR HBs-Ag HBs-Ab HCV-Ab HIV-Ab 新型コロナウイルス抗原定量検査	ARCHITECT i2000SR ルミパルス 1200 ルミパルス G600 II

一般検査	尿一般(PH 蛋白 GLU ケトン BIL ウロビリノーゲン 潜血 WBC 比重) 尿沈渣 各種穿刺液：細胞数 尿中浸透圧 精液検査（要相談）	XS-4030 OM-6060 顕微鏡
血液検査	WBC RBC Hb Ht PLT 網状赤血球 血液像 HbA1c PT APTT FIB FDP Dダイマー 赤血球沈降速度 血液ガス分析 等	XN-1000 CS-1600 ABL800
輸血検査	ABO 血液型 RH 血液型 直接クームス 間接クームス 不規則性抗体 交差適合試験 等	VISION SWIFT
細菌検査	鏡検検査（皮膚、グラム染色、抗酸菌染色） 新型コロナウイルス PCR 定性	GeneLEADVIII Loopamp EXIA
迅速検査	アデノウイルス抗原 ノロウイルス抗原 RSウイルス抗原 FLUウイルス抗原 HMPウイルス抗原 VZウイルス抗原 新型コロナウイルス抗原定性 ロタウイルス抗原 マイコプラズマ抗原 肺炎球菌抗原 レジオネラ抗原 A 群β溶連菌 尿中薬物スクリーニング 妊娠反応 CD 抗原 便潜血（ヒトヘモ）カンピロバクター迅速	各種キット OC センサー io

<生理検査部門>

	検査項目	使用機器
超音波検査	腹部エコー 心エコー 乳腺エコー 甲状腺エコー 血管エコー（上肢、下肢、シャント） 頸動脈エコー 表在エコー	AplioVerifia Aplio 400 LOGIQ S8
心電図	安静時心電図 3 分間心電図 運動負荷試験（マスター、トレッドミル） 24 時間心電図	CardiMax7 FCP-8700 MLX-1000Mulex FM-1400
肺機能検査	VC FVC	SP-370COPD
その他生理検査	聴力検査 眼底写真 皮膚灌流圧検査 ABI 脳波検査 睡眠時無呼吸検査（簡易） ヘッドアップティルト試験 DPN（腓腹神経伝導検査）	オーディオメーター AA-58 TRC-NW400 PAD-4000 VaSera VS-3000 EEG-1274 Watch PAT DPN チェック

その他、様々な検査について外部委託業者と連携し、対応しております。

■2025 年活動実績

院内実施 件数	心エコー		胸腹部エコー		検体検査	
	2024 年度	2025 年度	2024 年度	2025 年度	2024 年度	2025 年度
4 月	113	128	256	370	4,397	4,861
5 月	93	128	297	383	4,479	5,321
6 月	130	138	347	455	4,862	4,944
7 月	123	121	415	485	5,795	5,430
8 月	93	113	400	405	5,630	5,336
9 月	89	101	420	436	4,820	5,617
10 月	108	120	461	458	5,118	5,435
11 月	110	115	412	390	4,896	5,569
12 月	108	160	426	438	6,349	5,953
1 月	103	133	379	391	6,100	5,692
2 月	110	133	352	412	5,090	5,333
3 月	128	147	407	462	5,257	5,503
合計	1,308	1,537	4,572	5,085	62,793	64,777
平均	109	128	381	424	5,233	5,398

<2025 年度の取り組み>

生理検査部門では DPN（腓腹神経伝導検査）を開始しました。

ホルター心電図（24 時間心電図）の機器を更新し、軽量でシャワー浴可能な機種となっております。超音波検査等の検査時間の長い検査について寒さ対策としてぽかぽかシート設置しております。

検体検査部門では新たにカンピロバクター迅速検査の実施や日立 7180 自動分析装置を設置し、生化学自動分析装置の 2 台体制を行ない、日々のメンテナンス実施に伴う測定不可の時間をなくし、TAT の短縮に努めております。

また、ルミパルス G1200 を設置し免疫測定項目の分析機分担を行ない、腫瘍マーカーや感染症項目においても TAT の短縮に努めております。

■2026 年度の目標

1.厚生労働省 院内感染対策サーベイランス事業（JANIS）への参加継続や当院のアンチバイオグラムの作成、ICT における抗菌薬適正使用推進のための微生物学的検査体制の充足、院内感染対策における情報発信について強化します。

2.タスクシフトシェアによる業務拡大に伴い臨床検査技師にできることを多職種と協働しチームの一員として採血業務支援に取り組みます。

5 放射線科

■ スタッフ紹介 (2026 年 4 月 1 日現在)

診療放射線技師 12 名 (男性 7 名 女性 5 名)

非常勤画像診断専門医師 8 名

【各種認定資格】

- マンモグラフィー検診精度管理中央委員会認定 3 名
- X 線 CT 認定技師 1 名
- 救急撮影認定技師 3 名
- 肺がん CT 認定技師 3 名

■ 概要

放射線科の役割として高度医療機器を適切に使用し、正確で迅速な画像を各診療科へ提供しています。

撮影装置としては、一般撮影 (2 室)・80 列マルチスライス CT・64 列マルチスライス CT 1.5 テスラ MRI 装置・マンモグラフィー装置・血管撮影装置・X 線-TV 装置・骨密度検査ポータブル撮影・オペ室イメージ装置を配置しています。

マンモグラフィーなど、乳腺領域の撮影に関してはすべて女性技師が対応するように心がけております。

また診療用放射線に係る安全管理体制を整備し、放射線診療を受ける者の医療被ばくの防護を踏まえて診療用放射線の安全で有効な利用に努めています。

診断レポートについては、非常勤画像診断専門医師が主に CT・MRI・健診ドック胸部 X 線写真の診断レポート作成を行い、検査日当日か 3 日以内には完成するように努めております。

地域の救急医療の役割を担うために放射線科では年中無休・24 時間の勤務体制をとり撮影を行っています。

また有益な画像提供を目的に各スタッフ積極的に各勉強会・学会に参加し最新の知識・技術を習得し日頃の業務に生かしています。

開院当初より近隣の診療所、クリニックと連携し検査紹介を受けています。

診断結果は 3 日以内に郵送出来るように努めております。

また、緊急時は当日の撮影も対応しており診断結果も迅速に送っています。

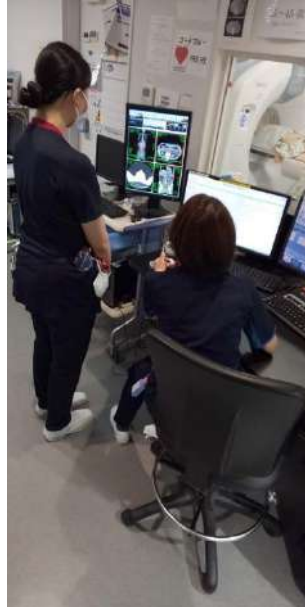
今後もの確な画像検査を提供できるように努力し地域の皆様から信頼される病院を目指します。

■業務風景

一般撮影



CT 撮影



MRI 撮影



■2025 年度 活動実績

●学会発表

2025 年 8 月 2 日 徳洲会 放射線技師部会 関西大阪ブロック学術大会発表

演題名「血管外漏出 0 を目指して」

演者 西山 双葉

●活動

2025 年 4 月 12 日 徳洲会 放射線技師部会 全国学術大会参加

2025 年 6 月 21 日・22 日 徳洲会 放射線技師部会 全国責任者会議参加

2025 年 10 月 4 日・5 日 徳洲会 放射線技師部会 全国ブロック長会議参加

●2025 年度 業務量実績

モダリティー	2024 年度	2025 年度
一般撮影	19,103 件	19,116 件
C T	10,932 件	11,051 件
M R I	3,253 件	3,597 件
血管撮影	133 件	151 件
X 線-TV 撮影	284 件	383 件
ポータブル撮影	5,947 件	4,975 件
オペ室イメージ	235 件	263 件
骨密度検査	391	467 件
マンモグラフィ	726 件	763 件

■2026 年度 継続取り組み

- 医療被ばく線量の適性管理を継続して行います。
- チーム医療の一員として他部門と協力し各検査が円滑に行えるよう連携を図ります。
- 患者様が安心して検査を受けられるよう検査説明を十分に行い医療安全、感染予防に努めます。
- 救急撮影の迅速対応や救急以外での至急検査の対応等、継続して行います。

6 薬剤部

■はじめに

私たちは、患者様により安心・安全な医療を受けていただけるように、医薬品の適正な管理・供給・医薬品情報の評価・提供、チーム医療の中における薬学管理などを実践し、医療技術の向上に努め、地域医療に貢献できる薬局を目指しています。

■スタッフ紹介 (2026年4月1日現在)

常勤薬剤師：17名

非常勤薬剤師：2名

非常勤事務：2名

■専門・認定薬剤師資格取得状況 (2026年4月1日時点)

日病薬病院薬学認定薬剤師	3名
漢方薬・生薬認定薬剤師	1名
外来がん治療専門薬剤師	1名
麻薬教育認定薬剤師（日本緩和医療薬学会）	1名
NST 専門療法士	3名
糖尿病療養指導士	1名
小児薬物療法認定薬剤師	1名
アレルギー疾患療養指導士	2名
サプリメントアドバイザー	1名
医療情報技師	1名
アカデミックディテリング認定薬剤師	1名
BLS インストラクター	1名
ICLS インストラクター	1名
PhDLS プロバイダー	1名
BHERP プロバイダー	1名
JIMTEF 災害医療ベーシックコース修了	1名
TMAT 国内災害医療支援コース修了	1名
日病薬 災害登録派遣薬剤師	1名
認定実務実習指導薬剤師	3名

医療安全管理者

1 名

医療メディエーター

1 名

■部署の特色・業務内容

薬剤部では薬物療法の有効性・安全性を確保するために、医薬品に関する全ての過程に
関与し、その適正使用に努められるよう努力しています。内服・外用薬の調剤(入院・外
来)、注射薬の調剤・調整、薬剤管理指導業務・病棟薬剤業務、レジメン委員会事務局業
務、薬物血中濃度解析、院内製剤調整、院外処方に関わる業務・薬薬連携、特定使用成績
調査の報告業務、各種医療チームへの参画、などを行っています。



■2025 年度 活動実績

外来処方箋枚数(枚)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
2025	4,845	4,797	4,759	4,890	5,030	4,996	5,078	5,171	5,544	4,882	4,864	5122

入院処方箋枚数(枚)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
2025	2,848	3,154	2,728	2,974	2,874	3,082	2,901	3,101	3,882	3,669	3,113	3297

薬剤管理指導件数(件)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
2025	467	545	604	646	639	627	537	488	500	412	514	563

■2026 年度の目標

(1) 病棟業務のさらなる強化

全病棟における薬剤師関与率の向上を図るとともに、処方提案や臨床介入の質を高め、薬物療法の最適化を推進していきます。

(2) 専門性の向上と人材育成

認定・専門薬剤師の育成を継続し、感染、がん、栄養等の専門領域における薬学的介入の質を向上させます。

また、教育体制の充実により、若手薬剤師の早期育成を図ります。

(3) 医療安全のさらなる高度化

医薬品リスクマネジメントを強化し、データに基づいた安全対策を推進することで、医療事故の未然防止に取り組みます。

(4) 業務効率化と質の両立

ICT の活用や業務フローの見直しにより、効率的かつ質の高い業務運営を実現していきます。

7 臨床工学科

■スタッフ紹介（2026年4月1日現在）

常勤：7名

認定資格等

3会合同呼吸療法認定士 1名

特定高圧ガス取扱主任者 2名

危険物取扱者乙種4類 2名

所属

奈良臨床工学技士会

大阪臨床工学技士会

京都臨床工学技士会

■特色

臨床工学科は、医療機器の専門職である臨床工学技士で構成され、人工呼吸器、血液浄化装置等の生命維持管理装置の操作および保守管理を担っています。手術室、人工透析室、ハイケアユニット等において他職種と連携し、チーム医療の一員として重要な役割をはたしています。

また、院内医療機器の中央管理を推進し、定期点検やトラブル対策を通じて医療の質と安全性の向上に貢献しています。さらに24時間オンコール体制を構築することで緊急時にも迅速に対応可能な体制を整え、医療の安全性と継続性の確保に貢献しています。

■2025年度 取り組み

本年度は院内医療機器の管理を推進するとともに、タスクシェアリングに注力し、医師・看護師との役割分担の最適化を図っています。さらに鏡視下手術におけるスコープオペレーター業務や直接介助業務に従事し、診療支援体制の強化に寄与しました。

■各分野別業務実績

血液浄化

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
HD/HDF(外来)	303	317	269	308	325	302	312	301	345	354	310	351
HD/HDF(入院)	54	20	24	46	39	48	41	29	30	48	54	19
on-lineHDF	169	167	150	167	180	167	162	155	171	181	158	171

呼吸療法

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
IPPV	64	69	32	43	58	68	74	68	31	30	9	24
NPPV	5	23	9	8	13	8	13	21	11	18	9	7
High Flow	50	76	17	29	48	52	56	78	79	72	14	93

心血管カテーテル・不整脈業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
PCI	6	6	5	5	7	5	7	5	7	9	8	6
パ・ーネットPM	2	4	3	2			3	4	5	1	3	3
アブレーション	1	1	2		1	3	1	1		1	1	1
パ・ースメーカー外来	16	26	22	22	18	14	30	14	20	19	19	16

内視鏡検査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
上部内視鏡検査	151	179	187	251	212	204	216	191	236	165	151	136
下部内視鏡検査	50	40	62	66	39	63	64	53	56	57	48	51
EMR・ポリペクトミー	14	15	19	29	14	31	20	26	19	22	14	13

高気圧酸素療法

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
HBO	64	55	134	100	92	93	59	82	62	49	71	66

手術室業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
スコープオペレータ	8	5	3	3	8	7	1	2	1	4	2	3
直接介助	17	14	16	21	23	25	23	18	28	25	21	17

機器管理業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
点検・修理	1028	1056	1004	1037	1034	1049	970	883	953	976	847	977

■2026 年度 目標

医療機器の中央管理のさらなる効率化と高度化を進め、医療機器稼動状況の可視化、および保守管理体制の最適化を推進します。加えて臨床現場における工学的視点を活かした課題解決に取り組み、チーム医療への貢献を一層強化します。

さらにタスクシェアリングの推進を通じて業務領域の適正化を図るとともに、24 時間オンコール体制の質向上により、緊急時対応能力の強化を目指します。

8 地域医療連携室

■スタッフ紹介（2026年4月1日現在）

常勤：7名

退院支援専従看護師：2名

退院支援専任社会福祉士（MSW）：4名

事務員：1名

■特色と役割

当院の地域医療連携室は、地域の医療機関、介護事業所との円滑な連携を推進し、切れ目のない医療提供体制の構築を担っています。紹介患者様の受け入れおよび逆紹介の促進を通じて、急性期から、在宅医療までの適切な役割分担を支援しています。

また、入退院支援においては、多職種と連携しながら早期介入を行い、患者様・家族様が安心して希望する地域や場所で生活ができるように調整を行っています。

さらに、本年度は、地域住民への健康啓発活動に尽力し、生駒市内の自治会や施設を中心に、出張医療講演を積極的に実施しました。これにより、地域住民の健康意識の向上と、当院の役割への理解促進に寄与しています。

今後も、地域のニーズに応じた柔軟な連携体制の構築に努め、信頼される窓口としての役割を果たしてまいります。

■活動実績・学会発表等

- ・ 2025年8月29日 2025年度 第一回 MSW 部会 ZOOM にて出席
- ・ 2026年2月20日 2025年度 第二回 MSW 部会 ZOOM にて出席
- ・ 2025年7月17日 2025年度 第一回生駒市医療介護連携ネットワーク協議会
在宅医療介護推進部会 部会員として出席
- ・ 2025年11月20日 2025年度 第二回生駒市医療介護連携ネットワーク協議会
在宅医療介護推進部会 部会員として出席
- ・ 2026年3月6日 2025年度 第三回生駒市医療介護連携ネットワーク協議会
在宅医療介護推進部会 部会員として出席
- ・ 2026年1月20日 第一回在宅医療・救急医療連携に係るセミナーに出席
- ・ 2026年2月20日 第二回在宅医療・救急医療連携に係るセミナーに出席
- ・ 2026年3月18日 生駒市権利擁護支援会議及び受任調整会議に出席
- ・ 2026年2月11日 生駒市まちのえきネットワーク会議に出席
- ・ 2026年10月9日 第1回生駒市多職種連携研修会に出席
- ・ 2026年11月12日 第2回生駒市多職種連携研修会に出席

- ・ 2025 年 10 月 23 日 拡大医療講演 ACP セミナー
場所：生駒市北コミュニティセンター 2 階会議室
- ・ 2026 年 3 月 14 日 生駒市立病院第一回地域医療連携の会 場所：当院 7 階講堂
- ・ 出張医療講演 全 23 回開催 ・ 院内医療講演 全 45 回開催

■今後の目標

昨年度の取り組みを踏まえ、地域連携のさらなる強化を目指し、紹介・逆紹介の円滑化と質の向上に努めてまいります。

また、入退院支援については、看護師が増員予定であり、早期介入の体制をより充実させ、患者様・家族様が安心して退院できる支援を強化します。

出張医療講演や院内医療講演、拡大医療講演などについては、引き続き生駒市内の自治会等との連携を深め、開催機会の拡大と内容の充実を図り、地域に根ざした医療機関としての役割を一層推進してまいります。

■開催した医療講演一覧

R7.4	18	助産師	離乳食中期についてのお話
	25	地域医療連携室	あなたの想いを未来に残す～エンディングノートをつくろう～
5	23	地域医療連携室	介護保険の基礎
	27	地域医療連携室	【出張医療講演】ACP ボードゲーム
	31	助産師	赤ちゃんをもつパパの会～パパ目線の育児について～
6	11	医局	带状疱疹と痛み～知っておきたい、その正体と対策について～
	15	医局	【開院 10 周年記念式典】シン・いこまっこのためにできること - これまでも、これからも -
			【開院 10 周年記念式典】当院での産婦人科診療について
	27	助産師	寝返り前後の赤ちゃん向け～ハンドリング講座～
7	18	助産師	離乳食後期についてのお話
	23	医事課	高額療養費について
8	15	助産師	手形・足形アートを作ろう
	21	医局	シン・いこまっこのためにできること- これまでも、これからも -
	22	地域医療連携室	【出張医療講演】あなたの想いを未来に残す～エンディングノートをつくろう～

9	12	助産師	赤ちゃんと一緒にタッチケア
	17	地域医療連携室	【出張医療講演】介護保険の基礎
	26	リハビリテーション科	予防しよう認知症～脳トレ入門～
10	3	医局	糖尿病のイロハ
	9	地域医療連携室	【市役所多職種連携】入退院調整マニュアルについて
	17	助産師	離乳食初期についてのお話
	17	リハビリテーション科	【寿大学】
	19	医局	乳房と向き合う日
	23	医局	【ISTA はばたき】ACP セミナー：あなたの「最期」は誰が決める？～「もしも」に備える人生会議～
		助産師	【中学校】性教育について
	29	医局	带状疱疹と痛み～知っておきたい、その正体と対策について～
11	7	医局	【合同症例検討会】止癒していると思われた熱性けいれん重積発作
		医局	【合同症例検討会】脳卒中と熱中症の鑑別 救急現場における重要な鑑別診断のポイント
		医局	【合同症例検討会】異所性妊娠による卵管破裂でショック状態となり超緊急手術で救命し得た一例
		救命士	【合同症例検討会】転倒後のガラス片刺傷で外傷性気胸を呈した一例
		地域医療連携室	【合同症例検討会】高齢者虐待が疑われるケースについて
		薬局	【合同症例検討会】イヌサフランによる中毒事例を通じて
		助産師	【小学校】性教育について
	9		健康祭
	12	救命士	【宇治徳洲会病院】BLS 研修
	13	看護師	【腎臓病教室】あなたの腎臓を守るために
		リハビリテーション科	【腎臓病教室】腎臓教室～今日からできる運動のコツ～
	26	医局	0歳から考える、子どものスマホ・デジタルの付き合い方～ルール作り編～
		助産師	
12	7	助産師	クリスマス会

	8	助産師	【小学校】大人に近づく心と体の変化、心と体のちょうどよい距離を知ろう
	10	救命士	【東大阪徳洲会病院】BLS 研修
	12	看護師	【糖尿病教室】糖尿病患者さんの災害対策
		リハビリテーション科	【糖尿病教室】糖尿病の運動療法について
	15	看護師	これからの感染対策～マスクだけじゃない”新しい日常の工夫”～
	17	薬局	【奈良県農業協同組合】带状疱疹について
	19	健診センター	脳ドックで守る”脳の健康”～脳動脈瘤や脳梗塞 早期発見の意義～
	26	放射線科	CT でみる心臓の血管
R8.1	13	看護師	【リーガルシニア八尾北本町】これからの感染対策～マスクだけじゃない”新しい日常の工夫”～
	15	医局	甲状腺について
	16	助産師	赤ちゃんの防災についてのお話
	18	地域医療連携室	【出張医療講演】気軽に人生を追体験～エンディングゲームをやってみよう～
	21	看護師	【出張医療講演】便活のススメ～腸がよろこぶ生活術～
	22	助産師	【小学校】性教育について
	22	看護師	【リーガルシニア河内山本】これからの感染対策～マスクだけじゃない”新しい日常の工夫”～
	23	地域医療連携室	施設入所をお考えの方へ
	27	看護師	【リーガルシニア生駒】これからの感染対策～マスクだけじゃない”新しい日常の工夫”～
	28	栄養科	体重管理で栄養管理
		助産師	【高校】性教育について
	29	検査科	臨床検査について
2	6	医局	おしっこの異常に気づいたら
	10	栄養科	【糖尿病教室】初級編：糖尿病の食事ってどんな食事？
		薬局	【糖尿病教室】糖尿病の注射薬について
	11	地域医療連携室	【まちのえき・生駒市役所】
	16	医局 助産師	赤ちゃんから考えるこどもスマホ・デジタルのつきあい方～上手な切り上げ方編～

	18	看護師	スキンケア最前線～ちょっとしたコツであなたのお肌を守る～
	19	リハビリテーション科	【出張医療講演】 良い姿勢で健康に
	26	健診センター	人間ドックでわかる” 隠れ病気” ～早めの気づきが健康寿命を延ばす～
	27	放射線科	マンモグラフィってどんな検査？
3	3		地域で支える健康と安全 市民・警察・医療機関の協働
	5	薬局	【出張医療講演】 不眠症と睡眠薬
	6	栄養科	【腎臓病教室】 腎臓を守る食生活
		薬剤師	【腎臓病教室】 腎臓に関わる薬について
	12	臨床工学科	高気圧酸素治療について～当院での治療実績、酸素の力！主な疾患別治療効果～
	13	地域医療連携室	【出張医療講演】 介護保険の基礎
	14	地域医療連携室	【地域医療連携の会】 当院における病診連携の現状と課題
		臨床工学科	【地域医療連携の会】 高気圧酸素療法について～当院の治療実績～
		看護師	【地域医療連携の会】 安心して治療を受ける為に～生駒市立病院 化学療法室のご紹介～
			【地域医療連携の会】 がん患者の認知機能障害（CRCI）がん関連
	15	リハビリテーション科	【出張医療講演】 認知症予防について
	23	栄養科	【デイサービスほのほの】 食と健康
	25	医局	たばこをすっていると、どんなことがおこるの？
	27	医事課	マイナ保険証と医療機関について

■2025 年度 紹介率

年/月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
文書による 紹介患者数	427	414	425	328	306	344	358	303	340	311	274	328	4158
救急用自動 車による搬 入患者数	271	225	246	271	297	275	233	234	249	303	232	195	3,031
合計	698	639	671	599	603	619	591	537	589	614	506	523	7,189
初診患者数	1,386	1,395	1,361	1,383	1,487	1,319	1,246	1,538	1,403	1,391	1,451	1107	16,467
紹介率	50.4	45.8	49.3	43.3	40.6	47.0	47.4	34.9	42.0	44.1	34.9	47.2	4.7
文書による 初診紹介患 者数	231	226	223	167	137	175	179	144	157	155	129	154	2,077
救急用自動 車による初 診患者数	135	101	114	125	131	115	102	80	95	129	93	65	1,285
初診紹介率	26.4	23.4	24.8	21.1	18.0	22.0	22.6	14.6	18.0	20.4	15.3	20.0	20.4

■2025 年度 逆紹介率

年/月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
逆紹介数	237	254	246	281	243	298	258	241	290	297	248	186	3,079
初診患者数	1,386	1,395	1,361	1,383	1,487	1,319	1,246	1,538	1,403	1,391	1,451	1107	16,467
逆紹介率	17.1	18.2	18.1	20.3	16.3	22.6	20.7	15.7	20.7	21.4	17.1	16.8	18.7

■医療連携登録医一覧

No.	施設名	主たる診療科	医師会分類
1	杉江産婦人科	産婦人科	生駒市医師会
2	あすかホームクリニック	内科・麻酔科	奈良市
3	学園南クリニック	整形外科	奈良市医師会
4	宇山内科クリニック	消化器科	生駒市
5	竹内小児科	小児科	生駒市医師会
6	富雄医院	内科・小児科	奈良市医師会
7	大阪ブレストクリニック学園前	乳腺外科	奈良市医師会
8	阿部診療所	内科・放射線科	生駒市医師会
9	木下クリニック	内科・循環器科	生駒市医師会
10	衛藤医院	内科・放射線科	奈良市医師会
11	生駒さくら診療所	胃腸科・肛門科	生駒市医師会
12	いしむら整形外科	整形外科	生駒地区医師会
13	勝間内科医院	内科・消化器科	生駒市医師会
14	好川婦人科クリニック	産婦人科	生駒市医師会
15	近藤整形外科	整形外科・外科	生駒市医師会
16	石井クリニック	内科・消化器科	生駒市医師会
17	永野クリニック	内科・消化器科・放射線科	奈良市医師会
18	つばきもと医院	内科・外科・肛門科	生駒市
19	長谷整形外科クリニック	整形外科	奈良市医師会
20	西大寺こころのクリニック	精神科	奈良市医師会
21	なないろクリニック	内科・訪問診療・循環器内科	奈良市医師会
22	衛藤耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	生駒市医師会
23	室家あったかクリニック	内科・訪問診療・循環器科	八尾市医師会
24	とみお診療所	内科	奈良市医師会
25	田中医院	整形外科	奈良市医師会
26	すぎはら婦人科	婦人科	奈良市医師会
27	とみお岩崎クリニック	内科・皮膚科・肛門外科	奈良市医師会
28	クレヨン小児科	小児科	奈良市医師会
29	松井小児科	小児科	生駒市医師会
30	カズクリニック	内科	生駒市

31	高浜医院	内科・在宅医療	奈良市医師会
32	牧之段内科	内科・呼吸器科・アレルギー科	生駒市医師会
33	生駒吉岡皮膚科医院	皮膚科	生駒市
34	奥田眼科学園前診療所	眼科	奈良市医師会
35	はしもとクリニック	内科・消化器科	生駒地区医師会
36	山田胃腸科・肛門科	胃腸科・内科 形成外科	奈良市医師会
37	渡辺耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	生駒市医師会
38	浜田クリニック	内科	奈良市医師会
39	島野歯科クリニック	歯科	生駒・郡山地区歯科 医師会
40	まつお内科	内科・消化器科	奈良市医師会
41	せいかクリニック	神経内科・内科	奈良市医師会
42	帝塚山クリニック	内科・消化器科・肝臓内 科・循環器科	奈良市医師会
43	いけだクリニック	泌尿器科・皮膚科・内科	奈良市医師会
44	やわらぎクリニック	総合診療科・在宅医療	生駒地区医師会
45	やまとクリニック	内科・精神科	奈良市
46	さくらクリニック	内科	大阪市
47	西奈良メディカルクリニッ ク	歯科・内科・皮膚科・メ ディカルフィットネス	奈良市医師会
48	ケイキ歯科医院	歯科・口腔外科	生駒・郡山地区歯科 医師会
49	やしき皮フ科	皮膚科	生駒市医師会
50	岩田ペインクリニック内科	ペインクリニック内科・内科・麻 酔科	北葛城地区医師会
51	角谷整形外科	整形外科・リハビリテーショ ン科・リウマチ科	大和郡山市医師会
52	稲田医院	内科・外科・整形外科	生駒市
53	いこま駅前クリニック	内科・消化器内科	生駒市医師会
54	山上内科医院	内科・消化器科・循環器 科	生駒市医師会
55	たにむら歯科口腔外科	歯科・口腔外科	大東四條吸歯科医師 会
56	あやめ池いしい婦人科クリ ニッ	婦人科・産科	奈良市医師会

57	松宮医院	内科・消化器内科	生駒市医師会
58	たけつな小児科クリニック	小児科	生駒市医師会
59	菊美台クリニック	内科・腎臓内科（人工透析）・糖尿病内科・リウマチ科	生駒地区医師会
60	渡邊内科外科クリニック	外科・胃腸科・肛門科内科	生駒市医師会
61	中井医院	内科・循環器内科	奈良市医師会
62	医療法人 讃高会 枚方東整形外科病院	整形外科・リハビリテーション科・消化器内科・呼吸器内科	枚方市医師会
63	まゆみクリニック	内科・老年精神科	
64	島田医院	内科・消化器内科	奈良市医師会
65	北生駒いつき内科クリニック	内科・消化器内科	生駒地区医師会
66	木村泌尿器科クリニック	泌尿器科	生駒市医師会
67	たにの皮ふ科クリニック	皮フ科	
68	どいクリニック	小児科	生駒市医師会、生駒地区医師会
69	阪倉クリニック	内科・外科	生駒市医師会
70	大塚医院	内科・循環器内科	生駒地区医師会
71	かじもとこどもクリニック	小児科	奈良市医師会
72	なんぶ眼科	眼科	生駒市医師会
73	かわたペインクリニック	麻酔科 精神科・心療内科	奈良市医師会
74	阿部眼科	眼科	生駒市医師会
75	小林皮ふ科クリニック	皮膚科	奈良市医師会
76	榎本レディースクリニック	産婦人科	生駒地区医師会
77	ひばり往診クリニック	麻酔科・内科	奈良市医師会
78	なかにし形成外科クリニック	形成外科・美容皮膚科・美容外科	
79	きくち診療所	内科	生駒地区医師会
80	皮膚科生駒熊本クリニック	皮膚科	生駒市
81	うえはら訪問診療所	内科・腎臓内科	

82	前田小児科	小児科・アレルギー科 (アトピー・皮膚炎等)	奈良医師会
83	よねだ内科クリニック	消化器内科	奈良市
84	医療法人 もみじ会 川口ク リニック	内科・外科	生駒医師会、生駒地 区医師会
85	医療法人 風尚会 やました 医院	脳神経外科	生駒医師会
86	佐道医院	内科・外科	生駒市医師会、生駒 地区医師会
87	医療法人 但馬会 田口クリ ニック	内科 整形外科	生駒市
88	医療法人 葛城会 かつらぎ 眼科クリニック	眼科	生駒医師会
89	溝口医院	内科	生駒市
90	医療法人 小畠診療所	内科・皮膚科	奈良市
91	医療法人 安心会 安田皮フ 科医院	皮膚科	生駒市医師会
92	いわもとクリニック	内科・外科	生駒地区医師会
93	医療法人 竹谷内科医院	内科・消化器	奈良市医師会
94	たかだこどもクリニック	小児科	生駒地区医師会
95	医療法人 友岡診療所	内科・消化器内科	生駒地区医師会
96	マツオメディカルクリニッ ク	内科	生駒市医師会
97	医療法人社団 日翔会 せん とクリニック	内科	
98	折橋診療所	内科	奈良市医師会
99	医療法人 博悠会 おおつか クリニック	脳神経外科・脳神経内 科・整形外科・内科・リハ ビリテーション科	
100	細井内科	内科	生駒市医師会
101	医療法人社団西日本平都会 ホームケアクリニック奈良	内科・耳鼻咽喉科 内科・循環器内科	
102	医染会そめかわクリニック	内科・循環器内科	奈良市医師会
103	医療法人社団有山会 鹿ノ 台クリニック	内科	生駒地区医師会

104	さくら内科クリニック	内科・消化器内科・内視鏡科・腎臓内科	生駒地区医師会
105	大阪うめだ鼠径ヘルニア MIDS クリニック	外科	大阪市北区医師会
106	生駒駅前たかやま内科・内 視鏡クリニック	内科・消化器内科	生駒地区医師会
107	医療法人五月会 おおはし 歯科クリニック	歯科	奈良県歯科医師会、 生駒・郡山歯科医師 会

■協力医療機関連携施設一覧

No.	施設名	類型	設置主体
1	スローライフ生駒	軽費老人ホーム	(福) 和貴会
2	介護付有料老人ホーム いに しえの里 創生	介護付有料老人ホーム	(株) 創生
3	スローライフモア	住宅型有料老人ホーム	(株) オープル
4	リーガルシニア生駒	住宅型有料老人ホーム	(株) 日本エム・エー・ シー
5	総合施設 やすらぎの杜 延 寿	介護老人福祉施設等	宝山寺福祉事業団
6	生駒市介護老人保健施設 やすらぎの杜優楽	介護老人保健施設	(医) 仁悠会
7	介護老人保健施設 アンジェ ロ	介護老人保健施設	(医) あすか会
8	小規模多機能ホーム・グル ープホーム アンジェロ三碓 の里	小規模多機能型居宅 介護 認知症対応型共同生 活介護	(医) あすか会
9	サービス付き高齢者向け住 宅 Cocode 百楽園	サービス付き高齢者 住宅	(医) あすか会
10	デイサービスセンター とみ のくに グループホーム とみのくに	認知症対応型共同生 活介護	特定非営利法人 夢のか けはし

11	あすならホーム東生駒	小規模多機能型居宅介護	(福) 協同福祉会
12	あすならホーム菜畑	通所介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護	(福) 協同福祉会
13	社会福祉法人 奈良苑	介護老人福祉施設等	(福) 奈良苑
14	療育ステーション COLORS	児童発達支援、放課後等デイサービス	(株) 日建
15	特別養護老人ホーム 光の桜	介護老人福祉施設	(福) ならやま会
16	介護付有料老人ホーム 春日苑	介護付有料老人ホーム	(株) 春日苑
17	グループホーム LUPIN 平群	認知症対応型共同生活介護	(有) LUPIN
18	デイサービス LUPIN 勢野	通所介護	(有) LUPIN
19	介護老人保健施設 悠々の郷	介護老人保健施設	(医) やわらぎ会
20	グループホーム壺分町ちどり	認知症対応型共同生活介護	(福) 晋栄福祉会
21	グループホーム さくら	認知症対応型共同生活介護	(株) ばあん
22	特別養護老人ホーム 梅花苑	介護老人福祉施設	(福) 嘉耶の会
23	ディーディー学園前Ⅰ・Ⅱ	認知症対応型共同生活介護	(有) ドリームデベロップ
24	ディーディー学園前Ⅲ・Ⅳ	認知症対応型共同生活介護	(有) ドリームデベロップ
25	ファミール東生駒	サービス付き高齢者住宅	(株) アイユウ
26	小規模多機能ホーム彩・平群	小規模多機能型居宅介護	(株) マリモ
27	ライフサポート友隣	軽費老人ホーム	(医) 友隣会
28	アミライフ・桜ヶ丘	認知症対応型共同生活介護	アミコ京阪奈介護サービス有限公司
29	小規模多機能型居宅介護 ゆりの会「小明」	小規模多機能型居宅介護	(有) ゆりの会
30	平群の里	認知症対応型共同生活介護・通所介護	(福) あけぼの会
31	ゆりの会デイサービスセンター	地域密着型通所介護	(有) ゆりの会

32	小規模多機能 いこいの家 26	小規模多機能型居宅介護	(株) ライフケア創合研究所
33	愛友ケアデイサービス かがやき	地域密着型通所介護	(株) アイユウ
34	愛友ケアデイサービス ひだまり	通所介護	(株) アイユウ
35	介護付有料老人ホーム 「ホームケアー生駒」	介護付有料老人ホーム	ホームケアー株式会社
36	介護付有料老人ホーム もみじの里	介護付有料老人ホーム	(株) エイシン
37	軽費老人ホーム 大倭滝の峯荘	軽費老人ホーム	(福) 大倭滝の峯荘
38	グループホーム それいゆ学園前	認知症対応型共同生活介護	マイクロ株式会社
39	パルムドール学園前	住宅型有料老人ホーム	(株) クカメディカルム
40	パルムドール学園南	住宅型有料老人ホーム	(株) クカメディカルム
41	宝山寺福祉事業団 梅寿荘	介護老人福祉施設等	宝山寺福祉事業団
42	KIZUNA 西松ヶ丘	サービス付き高齢者住宅	絆株式会社
43	特別養護老人ホーム ビオスの丘三郷	介護老人福祉施設	(福) 仁風会
44	あすならホーム富雄	通所介護、短期入所介護	(福) 協同福祉会
45	グループホーム 櫟の家	認知症対応型共同生活介護	(株) 創生
46	放課後デイサービス みつほ	放課後等デイサービス	(株) 愛真美
47	ライフケア生駒東山苑	サービス付き高齢者住宅	ライフケア生駒有限会社
48	特別養護老人ホームグレースの里	介護老人福祉施設	(福) 信愛会
49	特別養護老人ホーム第二グレースの里	介護老人福祉施設	(福) 信愛会
50	グループホーム グレース	認知症対応型共同生活介護	(福) 信愛会

51	エリシオン奈良	住宅型有料老人ホーム	(医) 仁誠会
52	エリシオン石木の里	介護老人保健施設	(医) 仁誠会
53	こまどりと丘	介護老人福祉施設	(福) 大和清泉会
54	ひまわり生駒苑	介護付有料老人ホーム	(株) 関西メディコム
55	アップル学園前	介護老人保健施設	(医) 北寿会
56	介護老人保健施設 ハビリス	介護老人保健施設	(医) あすか会
57	トゥインクルあやめ池	住宅型有料老人ホーム	ケアテラス株式会社
58	トゥインクルおしくま	住宅型有料老人ホーム	ケアテラス株式会社
59	トゥインクル中山町	住宅型有料老人ホーム	ケアテラス株式会社
60	トゥインクルプラス東生駒	サービス付き高齢者住宅	ケアテラス株式会社
61	グループホーム大和田	日中サービス支援型 共同生活援助、短期 入所	(福) ならやま会
62	まゆみクリニック	在宅療養支援診療所	(医) まゆみ会
63	彩・生駒	小規模多機能型居宅 介護	(株) マリモ
64	島田医院	診療所	
65	療育ステーション COLORS Plus +	児童発達支援、放課 後等デイサービス	(株) 信
66	医療法人社団 松下会 介護 老人保健施設 グランファミ リア	介護老人保健施設	(医) 松下会
67	医療法人社団 松下会 有料 老人ホーム エリクシール	住宅型有料老人ホーム	(医) 松下会
68	サービス付き高齢者向け住 宅 エスポワール友舞	サービス付き高齢者 住宅	(有) 友舞
69	サービス付き高齢者向け住 宅 涼風の丘 エスリージュ 友舞学園前	サービス付き高齢者 住宅	(有) 友舞
70	住宅型有料老人ホーム エス リア友舞押熊	住宅型有料老人ホーム	(有) 友舞

71	住宅型有料老人ホーム ハイ ツ友舞	住宅型有料老人ホーム	(有) 友舞
72	ザ・テラス学園富雄	住宅型有料老人ホーム	(株) nhi
73	住宅型有料老人ホーム グラ ンテージ聖	住宅型有料老人ホーム	住宅型有料老人ホーム グランテージ聖
74	介護老人保健施設 秋篠	介護老人保健施設	介護老人保健施設 秋篠
75	医療法人 明樹会 介護老人 保健施設 夢眠やまざくら	介護老人保健施設	医療法人社団 明樹会 介 護老人保健施設 夢眠や まざくら
76	住宅型有料老人ホームレス トコート生駒	住宅型有料老人ホーム	
77	合同会社叶生 生活介護リー ブル	生活介護事業所	
78	生駒就労支援センターつむ ぎ	就労移行支援事業所	(株) RIEN
79	おみそチル	児童発達支援、放課 後等デイサービス	(株) AYUMO
80	株式会社ナッセ		(株) ナッセ

9 医事課

■スタッフ紹介（2026 年 4 月現在）

常勤：13 名（役職 係長：1 名 副主任：4 名）
非常勤：12 名（うち派遣：8 名）

■特色と役割

＜窓口受付業務＞

- ・診察を希望される患者様の受付
診療科の受付・マイナンバー・保険証・住所・電話番号の確認、登録や、初めて来られた患者様のカルテ I D の作成、診察場所へのご案内をいたします。
- ・入院を予定されている患者様、若しくは当日に緊急で入院される方の受付
入院申込書兼誓約書や、入院当日にご持参いただく物などのご説明。マイナンバー・保険証の確認、登録などをおこないます。
- ・各種診断書等の書類受付
生命保険の診断書や各種公費申請書などのお申し込み受付対応をいたします。

＜診療会計業務＞

- ・外来、若しくは入院で診療等を受けられた患者様の診療費（患者様の窓口支払い額）の計算をおこない、お支払いの対応をいたします。

＜診療報酬（レセプト）請求業務＞

- ・診療を受けられた患者様の診療費（患者様の窓口支払い額を除いた額）を、毎月 10 日頃に、ご加入されている保険者等へ請求いたします。

＜内部事務業務＞

- ・労災、交通事故、各種公費、電話受付対応、未収金回収などの対応をおこなっております。

■活動実績・取り組み

<2025 年病院祭・健康フェスティバル>

・2025 年 11 月 9 日

実行委員長（医事課）

演奏：あすか野小学校・光明中学校

イベント：吉本興業さまの出演

展示：消防車両（生駒本署）・救急車両（当院）・医療機器等

体験：手術体験・白衣体験・薬剤師体験

販売：野菜・お弁当・お菓子・雑貨類

屋台：焼きそば・おでん・フライドポテト・肉まん・キャベツ焼き・ジュース等・
お菓子つかみ取り・スーパーボールすくい等

<医療講演>

・2025 年 7 月 23 日

演題：高額療養費について

・2026 年 3 月 27 日

演題：マイナ保険証と医療機関について

<各種研修・講習等の参加>

・2025 年 6 月 26 日～27 日

自衛消防業務新規講習

会場：大阪市立阿倍野防災センター

・2026 年 2 月 7 日～8 日

医療メディエーター養成研修

会場：吹田徳洲会病院

・2026 年 2 月 16 日

病院救急車患者搬送研修

会場：北とぴあ（東京都北区王子）

■2026 年度の目標

迅速かつ丁寧な受付対応、正確な診療費の計算を心掛け、患者様から「生駒市立病院へ来て良かった。」とお声掛けいただけるよう、業務に励んで参ります。

10 事務部・総務課

■スタッフ紹介 (2026年4月1日現在)

事務部長 / 顧問 / 総務課長

人事庶務担当 3名(非常勤1名) / 経理担当 3名(非常勤1名)

資材担当 1名 / 情報システム担当 2名 / 事業推進室 1名

医師・看護対策担当 1名 / 医局秘書 2名 / 研修医対策担当 1名

運転手(非常勤2名) / 電話交換手(非常勤1名)

【保有資格】

医療経営士2級・診療情報管理士・医療情報技師・日商簿記検定など
(複数名が保有)

■業務内容

総務課は、人事労務管理・経理・機器物品等の管理・施設管理・システム・行政対応など業務が多岐にわたります。縁の下の力持ちとして病院全体の運営を支えています。

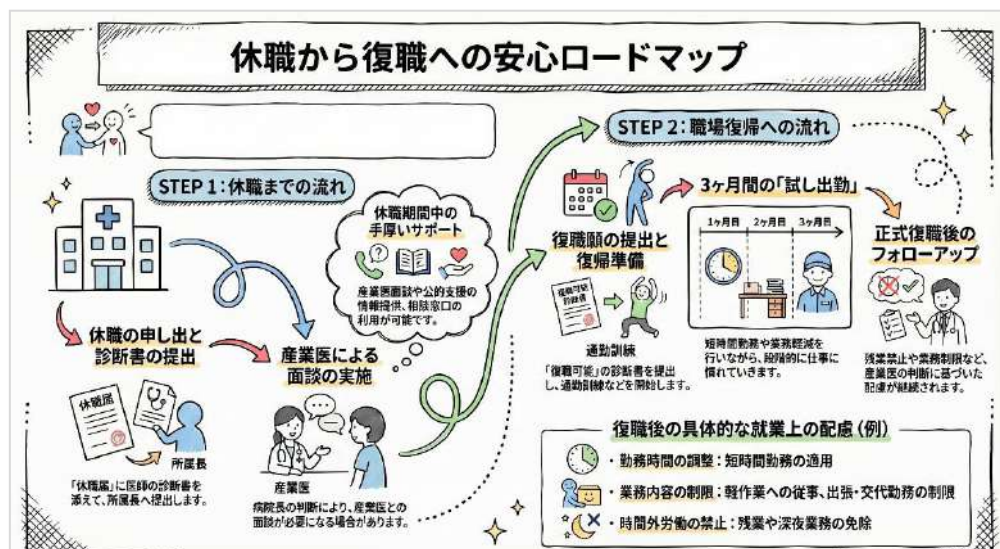
メディカルスタッフが診療やケアに集中できる様に、環境を整える事が総務課の役割です。

一般企業と異なり、「医療法」などの各種法令に準拠した運営を行うため、専門的な知識も必要であり、患者様と直接関わることは少ないですが、安心・安全な医療を提供する上で不可欠な役割を担っています。

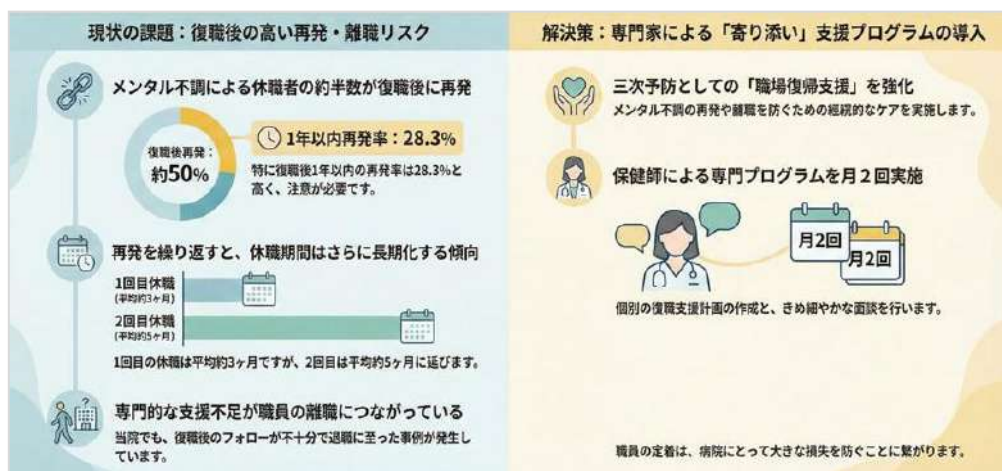
■活動実績、取り組み

職員の働きやすい環境作りと業務改善として、以下の取り組みを行いました。

- ① 職員の休職及び復職に関する規程の作成を行い、職員が安心して職場復帰できる体制づくりを行いました。

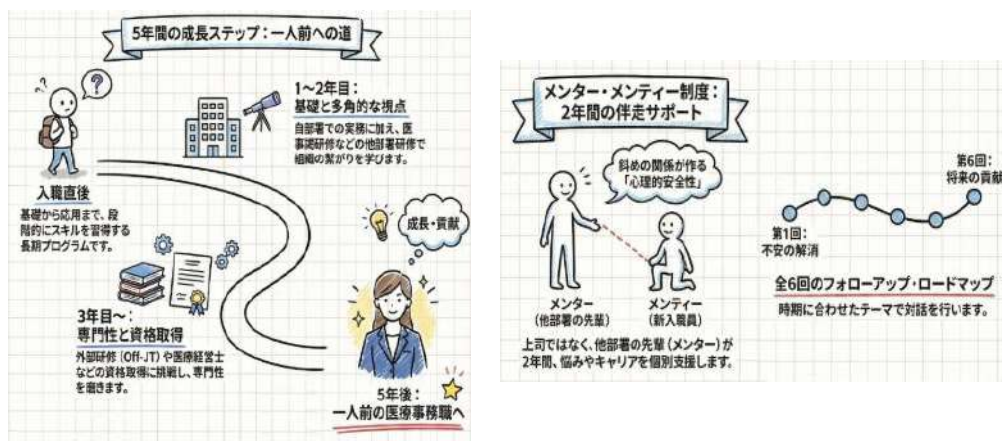


- ② メンタルヘルスの取り組みの一環として三次予防（職場復帰支援）を確立しました。



- ③ 事務職教育制度を確立させ、病院事務職のオンボーディング制度*の運用を開始するための下地作りを行いました。

*入職して5年で一人前の医療事務職となるためのプログラム



この制度は、2026年度より運用開始予定です。

- ④ 職員の身上事項に関する届出をペーパーレス化し、バックオフィス業務の効率化を図るため、各種申請システムを導入しました。



- ⑤ 各セクションにタブレット端末を配布しペーパーレス化に取り組みました。
継続して取り組みを行い、院内のペーパーレス化をより一層進めます。

導入の目的と効果

印刷・配布コストの削減と業務効率化

【現状】	【導入後】
 膨大な会議資料の印刷・丁合・配布の手間	 ペーパーレス化によるコストカットと即時共有

■今後の目標

職員が働きやすい環境づくりを継続します。

直近では、病院事務職のオンボーディング制度に加え、院内保育所利用の範囲を拡大し、職員の育児と就労の両立を支援することを目的とする制度の運用を開始する予定です。

又、改正労働安全衛生規則の施行に伴う、職場における熱中症対策の強化と福利厚生観点から、週1回の無料ドリンクの提供を行う予定です。

	利用可能日・時間	利用上限
 週休・有給休暇の場合 (育児負担軽減・リフレッシュ)	月曜日～金曜日（平日のみ） 8:30～16:30	2回／月
 研修を受講する場合	土・日も利用可能 8:00～17:30	2回／年
 育休中の利用	月曜日～金曜日（平日のみ） 8:30～16:30	回数制限なし

**週に1本、
無料でドリンクを提供**

常勤・非常勤（甲）の全職員が対象です。





**専用カードを
自販機にタッチ**

総務課から配布される無地の
専用カードを使用します。

設置場所は図書室
図書室に設置されている自動販売機で利用できます。

利用上の注意
 翌週への持ち越しは不可。



その他、IT・DX 化の推進と、事務職の教育や資格取得によるモチベーションアップ・離職防止に力をいれる事により、職員・患者様へのサービス向上に取り組みたいと考えております。

1 1 メディカルクラーク

■スタッフ紹介（2026年4月1日現在）

メディカルクラーク（医師事務作業補助者） 常勤 14名

■業務内容

医師事務作業補助者とは、医師事務作業補助体制加算における医師の負担の軽減及び処遇の改善に対する体制を確保することを目的として配置された、医師の事務作業を補助する専従者のことを言います。

診断書等の文書作成補助、診療記録への代行入力、医療の質の向上に資する事務作業（診療に関するデータ整理等）、教育や研修・カンファレンスのための準備作業等の業務を医師の指示の下に行うことができます。

当院では、診断書等の文書作成補助業務、外来診療補助業務（診療記録への代行入力、オーダーリングシステムの代行入力、診療予約、各種文書作成等）、診療に関するデータ整理（NCD、PIMS等の症例登録）、入院診療補助業務（各種文書作成、サマリ作成等）を行っています。



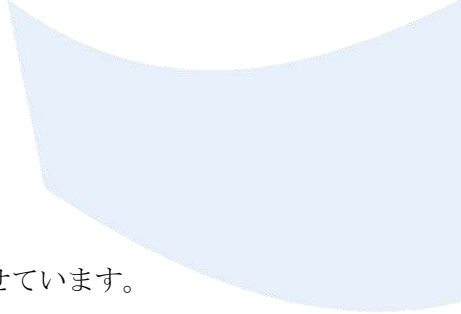
■活動、取り組み

2026年3月7日 2025年度関西大阪ブロックスキルアップ研修 参加・演題発表

■今後の目標

医師事務作業補助者の業務は医師の負担軽減を目的とする一方で、医師や医師以外の職種と協力することにより病院全体の業務の円滑化を図ることができます。これらは提供される医療の質のほんの一部として患者様へも還元されと考えています。

今後も医師や患者様のために何ができるのか、模索しながら日々の業務に取り組む



いと思います。

また、近年各業界で DX 化が進む中、医療業界にもその波が押し寄せています。
当院でも DX ツールを取り入れ、従来の業務をアップデートできるように取り組みたいと思います。

1 2 診療情報管理室

■スタッフ紹介（2026年4月1日現在）

常勤：3名

診療情報管理士以外の認定取得

- ・国際診療情報管理士 1名
- ・がん登録実務初級者 2名

■特色と役割

当部門は、診療情報の適切な管理を基盤とし、診療録の整備やコーディング、DPC 関連業務、がん登録など幅広い業務を通じて、医療の質向上と病院運営の支援に取り組んでいます。

日々の業務においては、正確で信頼性の高い情報提供を心がけるとともに、関係部署と連携しながら業務の見直しや改善を進め、より効率的で安定した運用体制の構築を目指しています。

また、継続的に質の向上を意識しながら、診療情報を活用した支援にも取り組んでいます。

■活動実績・取り組み

委員会活動

- ・診療録管理委員会（年4回）

当院では委員会内で診療記録の質的点検を行っており、多職種と検討し合いながらカルテ監査を行い、質の高い記録を目指しています。

- ・コーディング委員会（毎月）

院内の分析以外にも診療報酬改定等の情報発信を行い、質の高い DPC コーディングを目指し取り組んでいます。

演題発表

2025年12月18日 2025年度第3回 徳洲会診療情報管理部会
超規模大規模中規模研修会 演題発表

■今後の目標

今後は、診療情報の質の向上と安定した運用体制の強化を目指し、増員を踏まえた体制づくりを進めていきます。役割分担の見直しや業務の整理を行い、効率的な運用を図っていきます。

また、がん登録においては、体制の充実を活かしながら登録制度のさらなる向上に取り組むとともに、業務の効率化や確認体制の強化を進め、安定した運用を目指します。

さらに、DPCにおいてはコーディングをはじめとする登録精度の維持・向上に継続して取り組むとともに、分析や情報提供を通じて医療の質改善に貢献していきます。

加えて、新人育成においては、基礎的な知識・技術の習得を支援するとともに、段階的な指導を行い、早期に業務に習熟し、組織の一員として安定して業務を担える人材の育成を進めていきます。

1 3 感染対策室

感染対策室は、感染制御チームと協働し、院内感染対策の中隔を担っています。感染対策の実施状況を評価し、課題に対する積極的な介入を行うことで、安全で質の高い医療環境の確保に取り組んでいます。

さらに、職員の健康管理、体系的な感染対策教育、医療関連感染に関する専門的相談対応、発生動向監視（サーベイランス）を通じ、組織的かつ継続的な感染管理体制の強化を推進しています。

■構成員

医師・看護師・臨床検査技師・薬剤師

■特色

当院では、感染対策を一部門の取り組みにとどめず、組織全体で推進する体制づくりを重視しています。現場に即した実践的支援と迅速な情報共有を通じ、継続的な質向上を図っています。

また、生駒市の地域医療を支える立場として、院内のみならず地域全体の感染対策向上を視野に入れた取り組みを行っています。

■2025 年度 活動実績、取り組み

2025 年度より、感染管理特定認定看護師が専従配置となり、院内感染管理体制の強化を図りました。専門性を活かし、院内ラウンド、感染対策指導、発生時対応、職員教育を体系的に実施しています。

感染対策向上加算については、2025 年 5 月より加算 1 を取得しました。1-1 連携施設として、奈良県総合医療センター、奈良医療センター、白庭病院と連携し、相互ラウンドを実施しています。各施設間での情報共有や課題検討を通じて、地域全体の感染対策の質向上に努めています。

院内では電子カルテに感染管理システムを導入しました。これにより、感染症発生状況の可視化、サーベイランスの効率化、各種デバイス（中心静脈カテーテル、尿道カテーテル等）の管理がシステム上で一元的に把握可能となり、データに基づく感染対策の推進が可能となりました。

また、地域連携の一環として、介護福祉施設へのラウンドおよび感染対策研修会を実施しました。高齢者施設における感染予防体制の整備支援を行い、地域包括ケアにおける感染対策強化に取り組んでいます。

さらに、抗菌薬適正使用支援チーム（Antimicrobial Stewardship Team : AST）と連携

し、抗菌薬使用状況の把握とフィードバックを実施しました。耐性菌発生状況の監視および院内動向の共有を行ない、AMR 対策の推進に取り組んでいます。

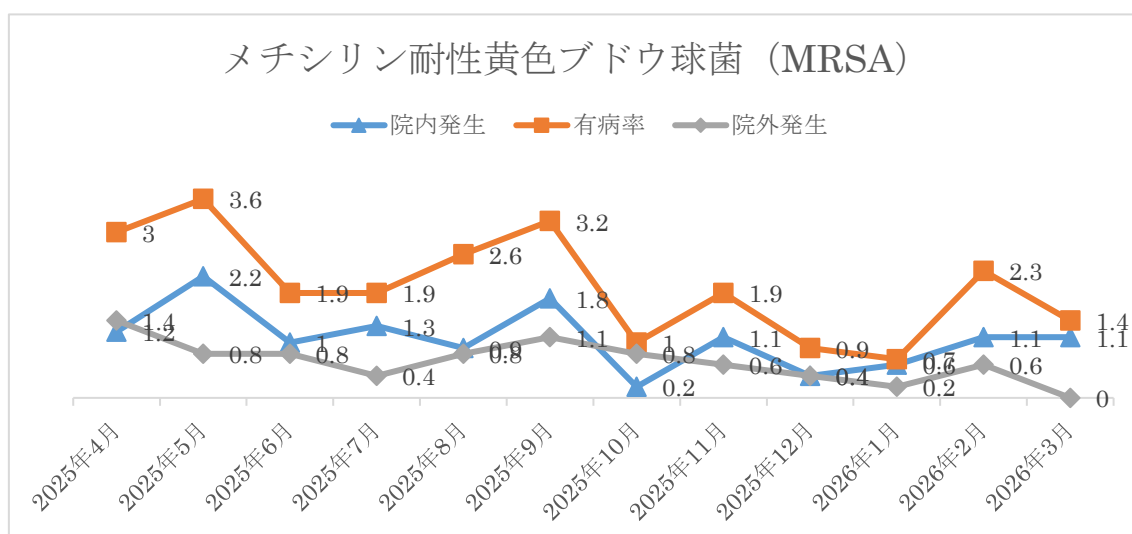
■2026 年度の目標

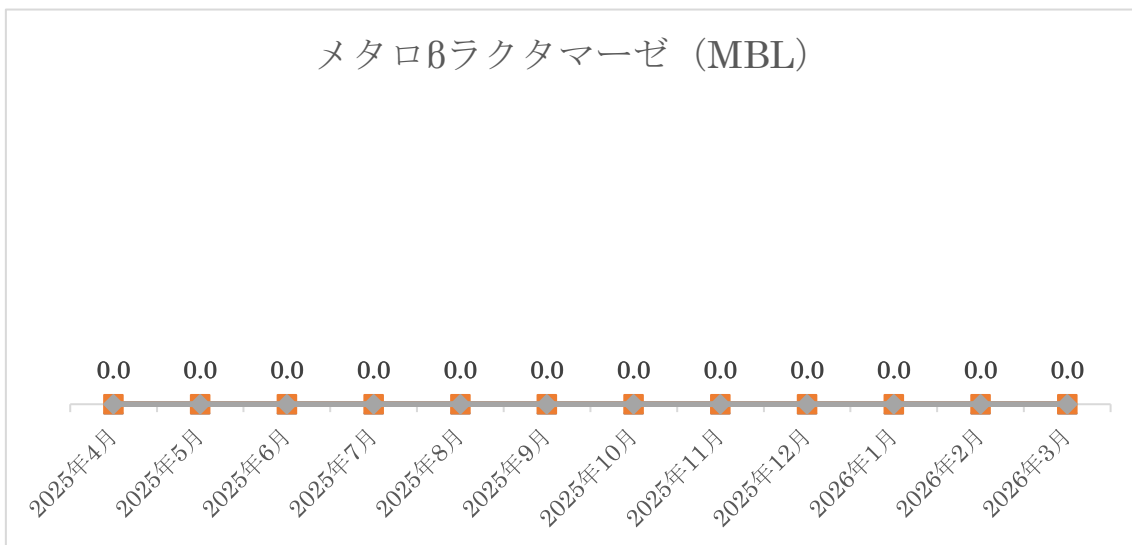
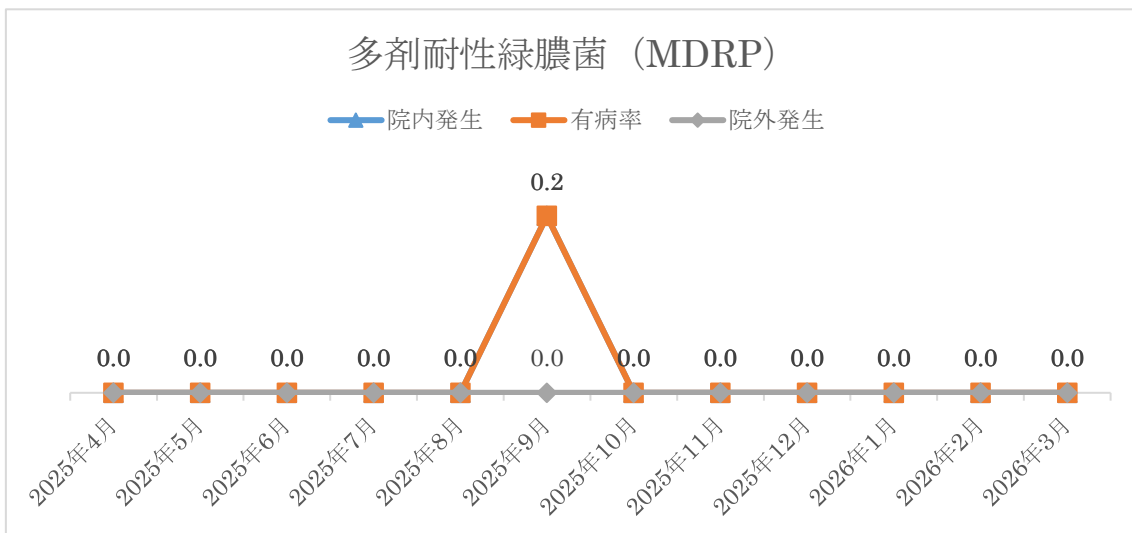
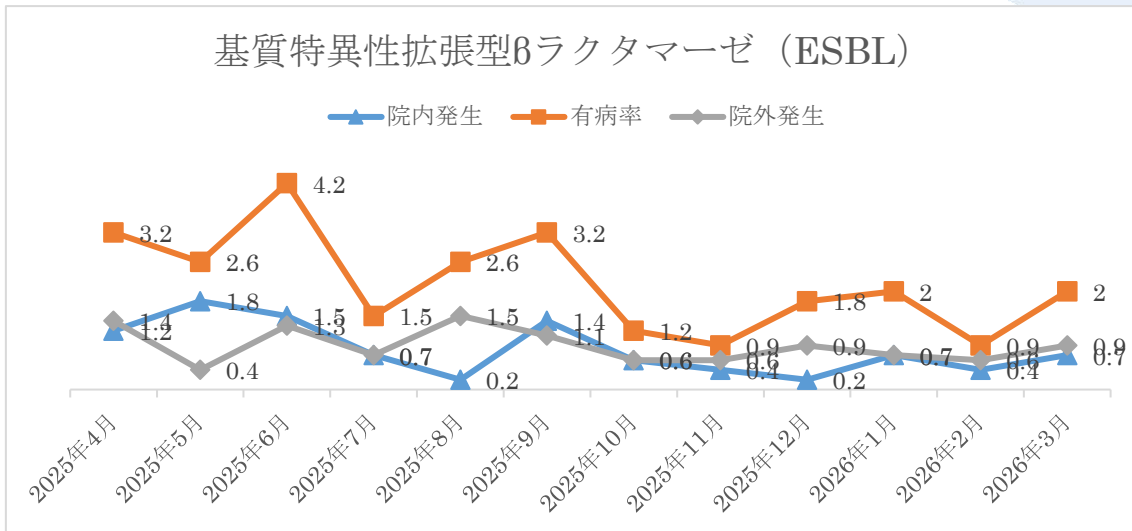
感染対策の基本である手指衛生の徹底を最重要課題とし、遵守状況のモニタリングとフィードバックを通じて、標準予防策の確実な実践を組織全体に定着させます。

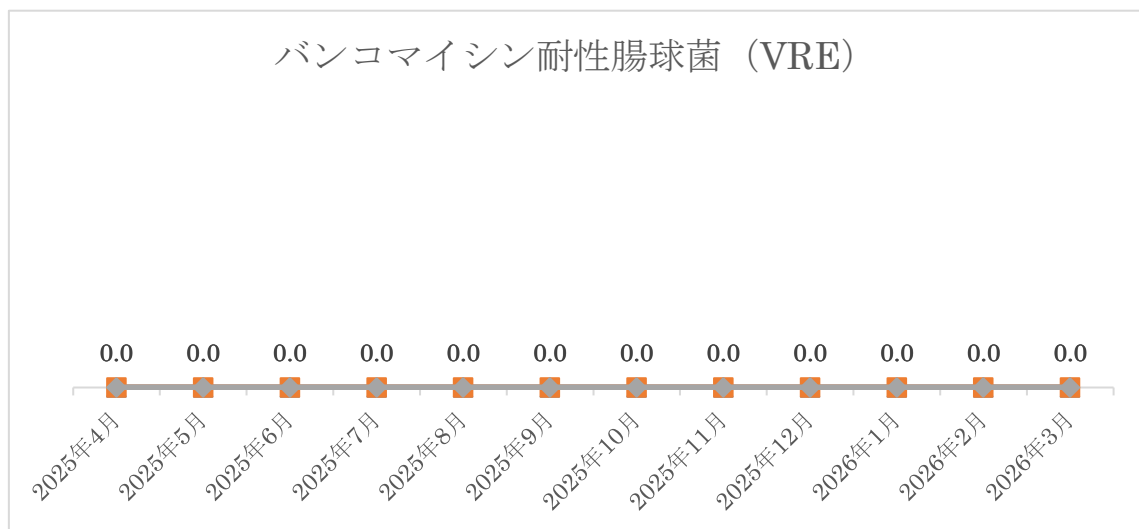
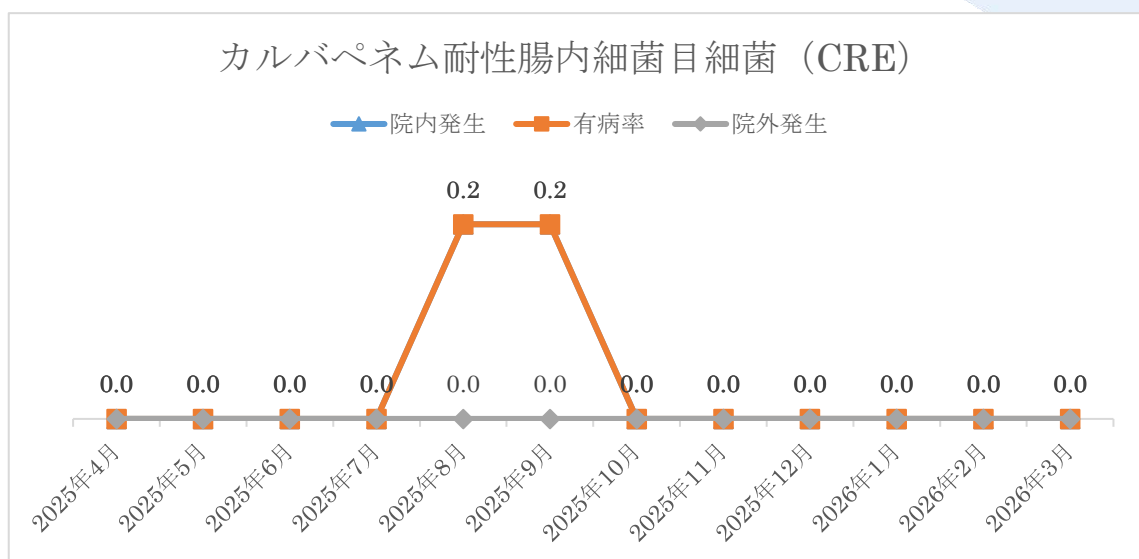
電子カルテ内の感染管理システムを活用し、感染症活性状況およびデバイス管理を可視化・分析することで、サーベイランスに基づく迅速な改善活動を展開します。デバイス関連感染の低減を目標とし、エビデンスに基づく対策の徹底を図ります。

また、AST と連携し、抗菌薬の適正使用を推進するとともに、AMR 対策を強化します。使用状況の評価とフィードバックを通じ、耐性菌発生抑制と治療の質向上の両立を目指します。

今後も、化学的根拠に基づく感染対策を推進し、安全で質の高い医療提供体制の確立に努めてまいります。



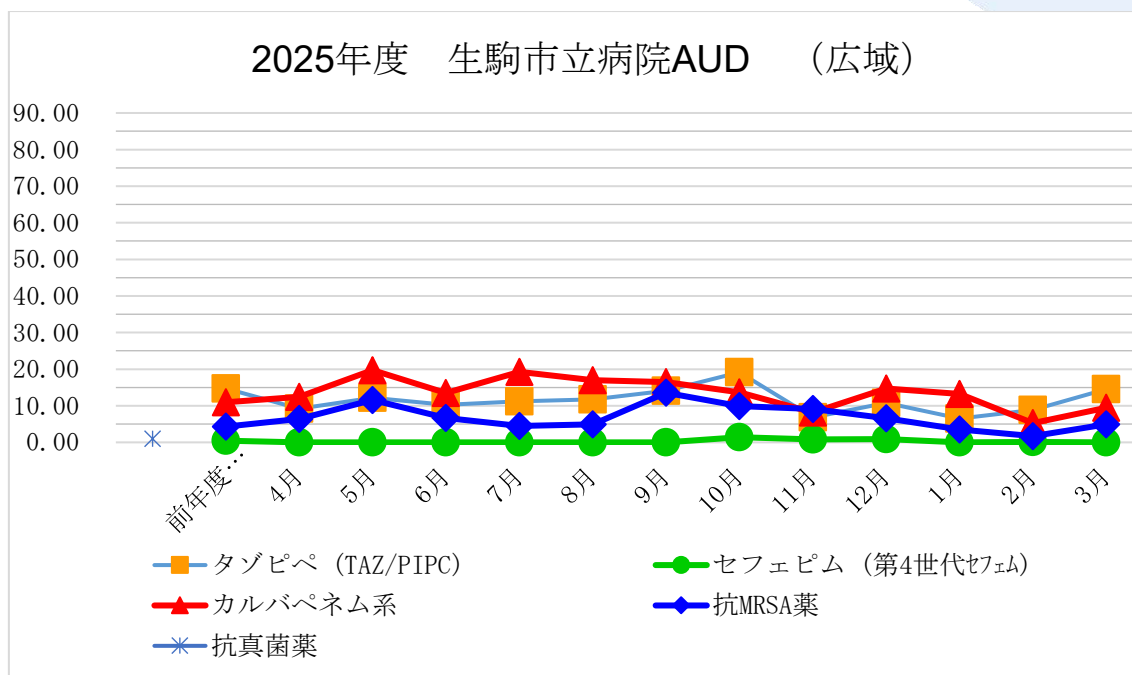




院内発生率＝新規院内検出患者数÷入院患者数（繰越入院患者数+新入院患者数）×100

有病率＝陽性患者数÷入院患者数（繰越入院患者数+新入院患者数）×100

院外発生率＝新規院外検出患者数÷入院患者数（繰越入院患者数+新入院患者数）×100



$$AUD \text{ (抗菌薬使用密度率)} = \frac{\text{抗菌薬使用量 (力価総量) (g)} / DDD(g)}{\text{在院患者延数}}$$

AUD (Antimicrobial Use Density) : 病院全体や病棟など、ある範囲で使用された抗菌薬の量を示す指標

力価 : その薬剤の有効成分の重量

DDD (Defined Daily Dose) : 医薬品の主な適応症に対する成人の1日仮想平均維持量

1 4 医療安全管理室

■部署紹介

医療安全管理室は、当院における医療安全体制の確立及び安全文化の醸成を目的として設置されています。

院内の各部門責任者により構成され、組織横断的に医療安全対策を推進しています。

活動は医療安全管理委員会を中心にセーフティマネジメントメンバーと協力し現場での医療安全活動に取り組んでいます。

■スタッフ紹介（2026年4月1日現在）

医療安全管理委員会 構成メンバー

委員長 医療安全管理者（医師）1名

医療安全管理室 医療安全管理者（看護師）専従 1名

診療部門 医師 2名

看護部門 看護部長 1名

事務部門 事務部長 1名 医事課責任者 1名

専門安全管理責任者

医薬品安全管理責任者 薬局長 1名

医療機器安全管理責任者 医療ガス安全管理責任者 臨床工学技士長 1名

医療法者箋安全管理責任者 放射線技師長 1名

栄養科責任者 栄養科主任 1名

輸血療法管理責任者 臨床検査技師長 1名

セーフティマネジメントグループリーダー 病棟主任 1名

外来師長 1名

■医療安全委員会

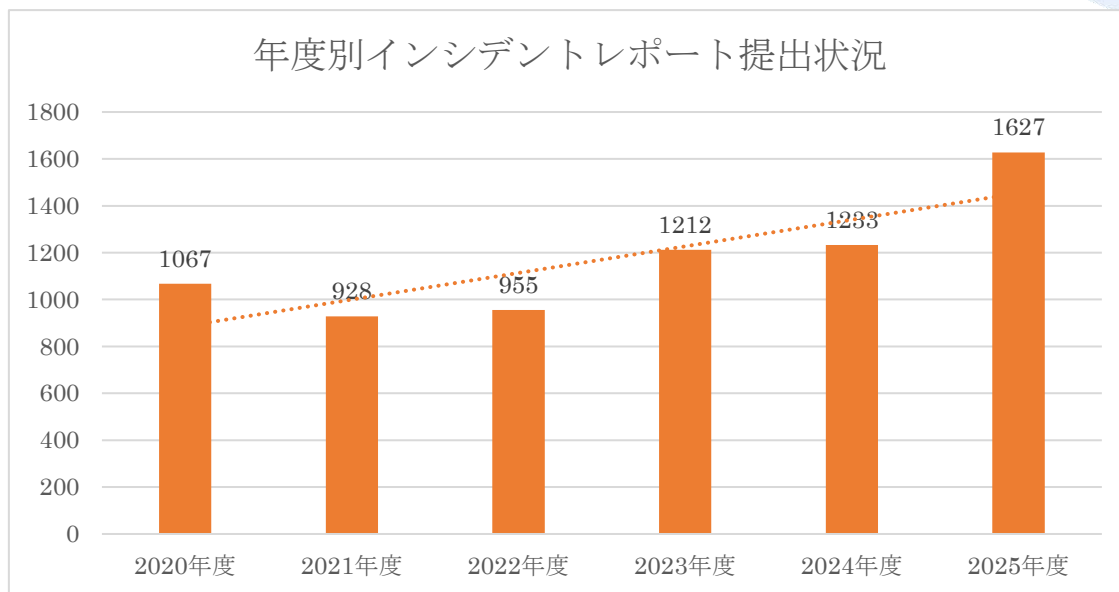
原則として毎月1回開催し、年間を通じて定期的に協議を行いました。

各部署から提出されたインシデント事例の共有、再発防止策の検討、院内周知方法の確認を実施し、必要時には迅速な対応を図りました。

セーフティマネジメントメンバーの協力のもと医療現場での、安全対策活動の実施を行っています。

■2025年度 活動実績

① インシデントレポート提出への働きかけ



②医療安全研修実施

(1) 医療安全必須研修（受講率 100%）

【第1回 医療安全対策について】

- ・医療安全対策の基本について
- ・医療ガスの安全管理
- ・インシデントレポートの書き方

講師 臨床工学科 小谷技士長

【第2回 医療安全研修】

- ・医療放射線の安全管理
- ・心理的安全性について

講師 薬剤部 田浦薬局長

両研修とも受講率 100%を達成し、全職員への安全教育を徹底することができました。

(2) その他の研修

9月30日 動画で学ぶ KYT 研修

11月4日・11月10日 看護補助者向けインシデント研修

12月23日 事務職員向けインシデント研修

職種ごとの業務特性に応じた内容とすることで、実践的な安全意識の向上を図りました。

③医療安全週間の取り組み

2025 年度は、医療安全週間において初の試みとして「インシデント 0 レベル企画」を実施いたしました。

報告枚数の多い部署を表彰することで、積極的な報告を推進し、安全文化の醸成を図りました。表彰は遠藤院長より執り行われました。

【看護部門】

第 1 位 外来

第 2 位 4 西病棟

第 3 位 5 東病棟

【コメディカル部門】

第 1 位 リハビリテーション

第 2 位 栄養科

第 3 位 臨床工学科

本取り組みにより、報告行動を前向きに評価する風土が強化されたものと考えます。

■2026 年度の目標

今後は、報告件数の増加に伴い、量的評価のみならず質的分析の強化が求められます。

重点項目は以下のとおりです。

1. レベル別および部署別傾向分析の強化
2. 再発防止策の迅速なフィードバック体制の構築
3. ヒューマンエラー分析の深化
4. 安全文化の継続的醸成

2026 年度目標として

1. 転倒転落防止対策の強化
2. 患者誤認防止の徹底

医療安全は組織文化そのものであります。

引き続き全職員が安心して報告できる環境を維持し、安全で質の高い医療の提供に努めてまいります。

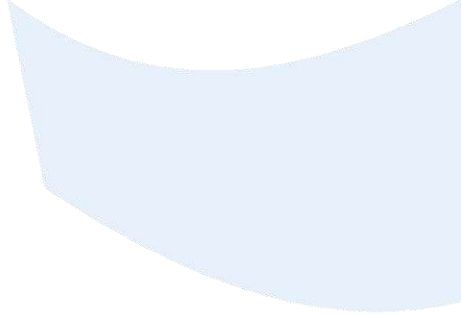
■年度別各部署 インシデントレポート提出状況

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
4 西	106	110	118	164	173	213
4 東	121	143	177	143	175	171
5 西	104	39	34	121	121	119
5 東	131	151	137	100	190	234
ICU	164	130	101	187	161	166
外来／E R	119	93	108	171	134	168
手術室	120	93	97	83	53	119
透析室	30	57	48	39	40	50
薬局	55	36	33	40	35	63
放射線科	23	11	15	30	20	32
検査科	15	12	28	43	42	54
栄養科	26	15	18	41	23	63
リハビリ	14	14	11	14	17	72
CE 科	12	9	9	12	18	48
医事課	17	8	15	14	25	28
健診センター	2	2	3	0	1	2
地域医療連携室	4	1	0	0	0	3
総務課	2	4	2	2	1	7
医局	2	0	1	8	4	15
計	1067	928	955	1212	1233	1627

今後も、医療安全活動を積極的に行ない。安心して入院・医療が受けられる病院を目指し関係各部署と協力して参ります。皆様のご協力ご理解の程よろしくお願いします。

■ インシデント・アクシデントレポート提出状況

	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年
4 西	21	71	46	101	91	106	110
4 東	103	55	97	146	129	121	143
5 西	—	63	59	82	62	104	39
5 東	—	—	58	156	186	131	151
ICU	19	1	—	109	113	164	130
外来／E R	42	28	49	65	61	119	93
手術室	18	18	21	21	60	120	93
透析室	5	5	2	15	19	30	57
薬局	22	34	31	76	36	55	36
放射線科	4	0	7	20	17	23	11
検査科	9	2	5	11	13	15	12
栄養科	50	20	11	23	40	26	15
リハビリ	3	5	17	19	16	14	14
CE 科	5	2	3	4	5	12	9
医事課	12	4	11	19	27	17	8
健診センター	—	—	3	1	2	2	2
地域医療連携室	—	—	—	3	5	4	1
総務課	3	2	2	14	11	2	4
医局	—	1	1	—	1	2	0
計	316	311	423	885	894	1067	928



生駒市立病院 病院年報
2026 年 8 月 発行

編 集 診療情報管理室
発行者 生駒市立病院 病院長 遠藤 清
住 所 奈良県生駒市東生駒 1 丁目 6 番地 2
電 話 0743-72-1111
ホームページ： <https://ikoma.tokushukai.or.jp>